

仁泉会ニュース 第 47 卷 第 5 号

発行所  
〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 FAX  
072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数  
河野 公一 6,100 部

URL  
http://www.jinsenkai.net

# 大阪医科大学 仁泉会ニュース



祝・福井大学医学部附属病院  
第一外科教授ご就任！  
五井孝憲先生  
研究奨励賞受賞  
論文紹介  
学生生活虎の巻  
その式レポート



天高く  
馬肥ゆる秋

## “大阪医科大学関係者の皆様”へ FELICE で フェリーチェ 理想の結婚

フェリーチェは、メディカル人材企業との提携を通じて、  
医療の第一線でご活躍の医師・歯科医師を中心に迎え、  
理想の結婚をプロデュースすることを目的として  
創設された会員制クラブです。  
万全の個人情報管理と医療業界を熟知した専任コーディネーター  
だからできる「洗練された出会い」をあなたに。

### < 成婚事例 >

男性	女性
33歳 大阪医科大学 医師	27歳 神戸薬科大学 薬剤師
31歳 大阪市立大学 医師	28歳 京都府立医科大学 医師
34歳 慶應義塾大学 医師	26歳 神戸女学院大学 英語教師
36歳 神戸大学 医師	33歳 関西医科大学 医師
38歳 京都府立医科大学 医師	29歳 近畿大学 会社員
37歳 愛知医科大学 医師	31歳 同志社大学 客室乗務員
41歳 関西医科大学 医師	33歳 京都女子短期大学 会社員
38歳 大阪大学 医師	32歳 兵庫医科大学 医師
37歳 近畿大学 医師	29歳 大阪医科大学 医師

フェリーチェは、個人情報保護を第一に、あえてオーソドックスなスタイルを守り、  
医療業界を熟知した専任コーディネーターがご本人様のお人柄・ご要望をしっかりと把握し、  
最適なお相手をご紹介いたします。

- 入会資格
- ◇男性25歳～50歳 医師、歯科医師
- ◇女性20歳～37歳 医師または短大・専門学校卒業以上
- 男女ともに結婚をお考えの独身の方
- ※上記条件を原則として、そのほか本クラブの独自の入会審査基準がございます。

### 大阪医科大学関係者様 限定キャンペーン

詳しくはお問合せください。



詳しくはフリーダイヤル、またはホームページにて、フェリーチェのすべてがわかる資料をご請求ください。

☎ 0120-683-156 [www.felice.cc](http://www.felice.cc)

受付時間 / 10:00～20:00 水曜定休日

フェリーチェはおかげさまで **創立14周年** を迎えました。そして、約4000社ある事業者の中で「会員内容的確さ」「スタッフのサポート体制」など  
11項目からなる「顧客満足度の高い会社」**2年連続 総合1位** (オ리콘株式会社調べ) との評価をいただきました。  
今後とも「真の顧客サービス」を目指し、皆さまのご結婚を全力でサポートさせていただきます。

### 無料 親御様向け説明会のご案内

- 開催日時：2016年9月20日(火)、23日(金)、27日(火)、29日(木)、30日(金)、10月4日(火)、6日(木)、11日(火)、13日(木)、14日(金)、18日(火)、20日(木)、21日(金)、25日(火)、27日(木)、28日(金) 各日14:00～
- ※他の日程での設定もございますので詳細はお問い合わせください。
- 会場：芦屋ラウンジ・銀座ラウンジ・横浜ラウンジ
- 専用ダイヤル：芦屋 0797-25-1076 / 銀座 03-6228-5720 / 横浜 045-264-4593

毎月1500件以上のお見合いをコーディネートしているプロフェッショナルがどんなご相談にもお応えします。

プライマリッジ株式会社  
[www.prime-marriage.com](http://www.prime-marriage.com)



結婚相手紹介サービス業認証機構より適正な  
サービス事業者として認証付与を受けています。



個人情報管理・プライバシー保護には  
細心の注意を払っています。

銀座ラウンジ 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル4F  
梅田ラウンジ 大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第四ビル10F  
芦屋ラウンジ 兵庫県芦屋市業平町6-16 芦屋ファルファール4F  
横浜ラウンジ 横浜西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA4F

# 目次

P3	祝・教授ご就任 五井孝憲先生（学 38 期） 五井孝憲先生（学 38 期）教授就任のご報告	原 隆（学 47 期）
P4	平成 29 年【36 会】開催のお知らせ 受賞報告 研究奨励賞受賞 論文紹介	
P5	平松 亮先生（脳神経外科・脳血管内治療科）	
P7	大濱日出子先生（内科学Ⅱ）	
P8	東北・九州震災遺児支援チャリティーコンサートのお知らせ	
P9	事業報告 学生生活虎の巻 その式 若手の先生と学生の交流の場が 設けられました！ 支部だより	
P15	平成 28 年度仁泉会高槻支部総会報告	合田公志（学 42 期）
P17	仁泉会阿倍野支部納涼会の報告	福本敏子（学 24 期）
P18	仁泉会西宮支部総会報告	原 均（学 31 期）
P19	平成 28 年度仁泉会神戸支部総会報告	中本博士（学 39 期）
P20	平成 28 年度仁泉会神戸支部ゴルフコンペ報告	中本博士（学 39 期）
P21	平成 28 年仁泉会広島県支部総会報告 クラス会だより	清水 泉（学 28 期）
P23	平成 28 年度「学四会」開催	西村 保（学 4 期）
P24	学部 18 期（S44 年卒）クラス会	嘉村智美（学 18 期）
P25	学 25 期卒業 40 周年学年クラス会 仁泉ひろば	中 透（学 25 期）
P26	心臓ペースメーカー最近の話題－リードレス－	佐々木進次郎（学 8 期）
P28	第 29 回大阪医科大学女医会開催される！	寺崎由香（学 32 期）
P29	平成 28 年大阪医科大学香川県人会開催される	萩森伸一（学 38 期）
P30	仁泉会大阪府支部連合会秋季学術講演会のご案内 冊子・新聞切抜	
P31	木野昌也先生（学 20 期）	安藤嗣彦（学 20 期）
P32	松浦尊磨先生（学 21 期）	
P34	奥田準二先生（学 33 期） 大道正英先生（学 33 期）	
P35	吹田浩之先生（学 36 期）	
P36	本学の広告	
P38	エッセイ「歴史を彩った女性達（1）」 リレーエッセイ「大阪医科体育大学？」	西村 保（学 4 期） 丸山栄勲（学 45 期）
P40	まんが 本部だより	アサヒボンタックス（学 31 期）
P41	会員計報	
P43	編集後記	



## 祝・福井大学医学部附属病院 第一外科教授ご就任！ 五井孝憲先生（学 38 期）

### 五井孝憲先生（学 38 期） 教授就任のご報告

文責／原 隆（学 47 期）

平成 28 年 4 月 1 日に、大阪医科大学仁泉会福井県支部会員である学 38 期の五井孝憲先生が、福井大学附属病院第一外科の教授に就任されました。

五井先生は、これまで多忙にもかかわらず仁泉会福井県支部にも積極的に参加されております。何度かお会いしての私の印象になりますが、後輩である私達にも常に非常に丁寧に、大変親切に接していただき、親しみやすいく優しい先生で

す。先輩の先生方からも人望が厚い先生で、このような先生の方で学ぶ第一外科学教室員の先生方、学生の皆様は大変幸せだと思う次第です。

現在先生は、臨床では大腸癌の診断、手術、化学療法について、若手医師に指導を積極的に行っているらしいです。研究では大腸癌の増殖、転移機構の解明を題目として、大学院生への指導、自らも実験を行っているそうです。また研究成果を臨床の治療へと結びつけることができるように、トランスレーショナルリサーチも行っているらしいです。

以下五井先生の御略歴を紹介させていただきます。

### 御略歴

福井県敦賀市出身

平成元年 3 月 大阪医科大学卒業

平成元年 5 月 福井大学医学部附属病院（旧福井医科大学医学部附属病院）第一外科入局

平成 8 年 3 月 福井医科大学医学研究科博士課程修了（大腸癌に対する転移機構の解明：細胞接着分子 CD44 の検討）

平成 9 年 4 月～平成 11 年 3 月 米国 タフツ大学留学（癌細胞内における増殖、浸潤に関するシグナル伝達系の解明）

平成 11 年 4 月～平成 19 年 3 月 福井大学医学部附属病院第一外科 助手

平成 19 年 4 月～平成 26 年 12 月 福井大学医学部附属病院第一外科 講師

平成 27 年 1 月～平成 28 年 3 月 福井大学医学部外科学（1）講座 准教授

平成 28 年 4 月～ 福井大学医学部外科学（1）講座（消化器外科・乳腺内分泌外科）教授就任

【学会】

日本臨床外科学会 評議員、日本内視鏡外科学会 評議員、日本大腸肛門病学会 評議員

日本消化器病学会 北陸支部評議員、日本膵切研究会 代表者 などほか多数



右前が五井先生。

五井先生の教授就任の報告を受けて、6月10日に教授就任祝いの会を計画させていただきました。場所は福井市内にある料理が美味しいことで有名な割烹料亭です。多忙な五井先生の御都合で金曜日になりました。平日でもあり参加できる先生方も少なめでしたが、5名の先生方が五井先生のお祝いに駆け付けてくれました。おいしい料理をいただきながら五井先生の最先端の外科医療技術を知っていましたが、私整形外科医には、すいません全く分かりませんでした…。

しばらく談笑の後、会からの記念品贈呈になりました。まずお花ですが、お祝いの花はたくさんもらっていることと思いきかも男性でありますので、花ではなく「花」が名前に付く美味しい福井の地酒「花垣」を送らせていただきました。次に仁泉会福井県支部から支援金をお渡しし、最後にメッセージ入りのロックグラスを送らせていただきました。忙しい仕事の後のゆっくりできる時間などに使っていただけたらと思います。

五井先生の今後の御活躍を祈りつつ会を終了しました。また機会があれば五井先生の御活躍についてご報告させていただこうと思っております。



左が五井先生。  
支部長の安井先生から記念品を受け取る場所。

## 平成 29 年【36 会】開催のお知らせ

日時：平成 29 年 5 月 13 日(土) 14 日(日)

場所：ホテルグランヴィア大阪

13 日(土)：食事会・二次会

14 日(日)：ゴルフ組／枚方カントリー（詳細は第 2 報）

観光組／大阪医科大学の\*四方広場を見学

—山崎美術館見学—昼食（長岡天神予定）

\*【四方広場】：36 会のクラスメート、故四方朋子先生のご遺言により、ご遺産を大阪医科大学へご遺贈され、医学生のための永久的奨学金制度を設置されました。大阪医科大学では、特別校舎として、ご芳名板に名前を刻み、歴史資料館や正門を含む、緑の広場を整備し、憩いの広場として市民に開放している広場を、通称「四方広場」と命名しております。お時間出来れば、関西にお住いの先生方、ぜひとも観光組で、「四方広場」を訪れてみませんか。第 2 報は 12 月頃

ご連絡先：電話：06-6876-3384（小谷医院）

F A X：06-6878-1709（小谷医院）

幹事：ゴルフ担当（田崎、藤井） 観光担当（島田、小谷）

第一報の“出欠返事”  
未だの方はご返事を！

## 受賞報告 ● ● ● 研究奨励賞受賞

大阪医科大学第 92 回医学会総会平成 28 年度春季学術講演会に於いて、研究奨励賞を受賞された脳神経外科・脳血管内治療科・平松 亮先生、内科学Ⅱ・大濱日出子先生の表彰式が行われました。両先生の受賞論文をご紹介します。

### 論文紹介

Tetrakis(p-carboranylthio-tetrafluorophenyl)chlorin (TPFC) :  
Application for photodynamic therapy and boron neutron capture therapy

文責／平松 亮（脳神経外科・脳血管内治療科）

#### 【背景】

悪性神経腫瘍、特に膠芽腫は診断から生存期間中央値が 2 年未満と極めて予後不良で、その多くの場合が摘出腔隣接部からの局所再発を認める。そのため後療法には、腫瘍摘出後の周辺組織内に残存する浸潤腫瘍細胞に対しての高い制御能力が求められる。その中で光線力学的療法 (PDT)・ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) といった細胞選択的局所制御能力にたけた治療法が注目されている。PDT は腫瘍に取り込まれる光感受性物質（主にポルフィリン誘導体）に励起光を照射することによって生ずる光化学反応を利用した治療で、一方 BNCT は腫瘍に取り込まれたホウ素化合物に中性子を照射することによって放出される高線量エネルギー付与 (LET) を利用した治療法である。今回我々はこのどちらにも適用可能な新規ホウ素化クロリン (TPFC) 単一薬剤による両治療での有用性を示すため in vitro / in vivo study を行った。

#### 【対象および方法】

F98 rat glioma cells を用い in vitro PDT / BNCT study を行い、効果判定は colony forming assay にて評価した。また Fisher rats を用い in vivo BNCT study を行い、中性子照射後の生存曲線をそれぞれの群（未治療群、放射線治療単独群、TPFC 投与単独群、BPA 投与単独群、TPFC+BPA 併用投与群）で比較を行った。本報告で着目すべきは、中枢神経系悪性脳腫瘍に対する薬物投与方法として近年注目されている convection enhanced delivery (CED) を用いた in vivo BNCT study



を行っている点である。悪性神経腫瘍治療には、治療薬剤の血液脳関門 (BBB) を介した透過性の問題がある。また薬剤の BBB の透過が得られたとしても有効な薬剤濃度に到達するためには、投与薬剤による全身合併症の問題もあり投与量が制限されるため 2 重に治療効果を制限されてしまう。CED は脳内・脳腫瘍内にカテーテルを留置し、ごく微量を持続注入することによって発生する bulk flow を応用するもので、より分子量の大きい薬剤を、より少ない投与量で脳内へ運搬することが可能である。そのためこの CED は悪性神経腫瘍治療における breakthrough となりえるドラッグデリバリーシステムである。本報告はホウ素化クロリンを CED で投与し中性子照射を行った初めての報告であり、学術的意義は非常に高いものとなっ

ている。

### 【結果】

まずは F98 rat glioma cells を用いた細胞内取り込み量を現在臨床 BNCT で使用されているホウ素化合物である BPA と比較を行い、2 倍以上の取り込み量を TPFC で認めた。この結果を受け、in vitro PDT では  $2.5 \mu\text{g}^{10}\text{B/ml}$  および  $5 \mu\text{g}^{10}\text{B/ml}$  TPFC に 18 時間暴露した F98 rat glioma cells を一旦遠心分離機でリンスしてから 9J の熱量を照射したところ 0.007 および 0.002 の surviving fraction を認め、PDT の光感受性物質として十分な効果を認めた。さらに in vitro BNCT study でも BPA との比較を行い、中性子照射時間が 30 分で 0.04 の surviving fraction を認め BPA が 0.12 であり BNCT のホウ素化合物としても十分な効果を示した。さらには TPFC を用いた in vivo BNCT study では、まず脳腫瘍モデルを作成し腫瘍取り込み量と正常脳およびその他血液を含めた各臓器の薬剤取り込み量を確認した。腫瘍ホウ素取り込み量は  $40.35 \pm 11.78 \mu\text{g}^{10}\text{B/ml}$  と非常に高く、また CED 投与後 24 時間後が腫瘍と正常脳とのホウ素取り込み比が最も高かったため、中性子照射実験での CED で投与を行う TPFC 濃度を 0.25mg TPFC/rat とし、また CED 投与後 24 時間後に中性子照射を行うこととした。BPA 投与量は臨床で投与されている 250mg/kg b.w. で静脈内投与し、上記で記載した 5 群の生存期間比較を行った。BPA 静注 +TPFC CED 併用群は BPA 静注単独群と比較して生存期間に有意差は認めなかったが、生存期間のばらつきが改善した。さらには TPFC を CED で投与した rat の脳切片を作成し蛍光顕微鏡で確認を行うと腫瘍のみが赤く蛍光を示した。これは細胞レベルでも同様に蛍光顕微鏡で F98 rat glioma cells の蛍光を確認した。

### 【考察】

PDT の殺腫瘍効果は光化学反応にて生じるエネルギーが一重項酸素を生成することによる。この一重項酸素が細胞膜などに反応し、殺腫瘍効果を発揮する局所制御能力にたけた治療法である。一方 BNCT の骨氏はホウ素化合物が取

り込まれた細胞に中性子照射されることでそれぞれ単独では影響が少ないが  $10\mu\text{m}$  以内という短い距離に高 LET が放出されことによる。この距離が細胞ひとつの大きさよりも短いため、ホウ素化合物が取り込まれた細胞のみで殺腫瘍効果を認め周りの細胞への影響が少ないため、PDT 同様に局所制御能力が優れている。PDT・BNCT 双方の治療において、光感受性物質・ホウ素化合物がより腫瘍選択的に取り込まれることが高い局所制御能力を生み出す結果につながる。

今回我々が行った実験にて新規ホウ素化クロリンである TPFC は現在臨床 BNCT にて使用されている BPA よりも高い細胞内取り込み量を認め、また in vitro PDT では十分な殺腫瘍効果を示した。我々はこの TPFC を臨床にて実用化するにあたり、術前ホウ素化クロリン投与は多くの利点を有していると考えている。それは今回の結果でも示されたようにホウ素化クロリンが蛍光特性を有しており、術中に光線力学的診断 (photodynamic diagnosis; PDD) および蛍光ガイド下腫瘍摘出術に使用することが可能であるところによる。PDD は術中の蛍光を確認し鑑別診断にも役立ち、また蛍光ガイド下腫瘍摘出術は脳腫瘍摘出率の向上とそれに related 生命予後の改善を認めたという報告があり、現在脳腫瘍手術支援法として多くの施設で用いられている。これらに応用することができるため、この TPFC は単純に後療法として使用されだけでなく手術支援としても大変有用である可能性を我々の実験が示した。

また PDT は局所制御能力にたけた治療法であるが、以前より脳表から深達度が深い病変への症例においてレーザーの透過性の問題が指摘されている。一方、BNCT は熱外中性子を利用しており、レーザーと異なり透過性が高い。そのため PDT 単独では効果が少なかった症例に関しても BNCT を追加することで局所制御を高めることができる。

### 【結語】

今回我々は新規ホウ素化クロリンである TPFC を用い in vitro PDT / BNCT study および in vivo BNCT study を行い両治療法に適用可能

であることを示した。また TPFC は術前投与を行うことで PDD および蛍光ガイド下腫瘍摘出術にも応用することができる可能性を有しており後療法としてだけでなく術中支援としても

使用可能であり、その後の臨床応用を見据えた薬剤であるといえる。今後臨床での実用化に向けてさらなる実験が行われ、実用化されるべき薬剤であると考えられる。

## 論文紹介

M2b macrophage elimination and improved resistance of mice with chronic alcohol consumption to opportunistic infections

文責 / 大濱日出子 (内科学 II)

### 【目的】

慢性アルコール性肝障害患者は、様々な感染症を起こしやすく、死因の大きな一つとなっている。宿主に侵入した病原に対する自然免疫系の主要な細胞にマクロファージ (MΦ) があり、それは活性化すると抗菌活性を持ち IL-12 を産生する M1MΦ と、抗菌活性をもたずレジデント MΦ から M1MΦ へ転換することを阻害し、L-10 を産生する M2MΦ が存在する。今回、アルコール過剰摂取時の感染抵抗性および免疫に対する影響を調べるため、慢性アルコール投与マウス (chronic alcohol consumption mice : CAC-mice) を作成し、そのマウスの感染感受性およびそのマウスに存在する MΦ の性質を検討した。さらに、遺伝子治療により CAC-mice の MΦ の性質を変更し、感染抵抗性を導きうるか検討した。

### 【方法】

雄の 9-12 週齢の BALB/c を対象とし、これらに 20% アルコールを 0.5mL/日ずつ 4-16 週間経胃的に投与し CAC-mice を作成した。これに対し、Enterococcus faecalis (E. faecalis)、Klebsiella pneumoniae (K. pneumoniae) を経胃的、経気道的に感染させ、感染後の生存率を確認した。また E. faecalis 感染に対する宿主の感性抵抗性に働く主要免疫細胞を調べるために様々な免疫細胞を欠損させた免疫不全マウスに E. faecalis を経胃的に感染させ、腸間膜リンパ節 (Mesenteric lymph node : MLN) における菌の増殖を colony counting method を用いて検討した。CAC-mice 由来の MΦ の性質を調べる



ために、同マウスより MLN MΦ を分離し、heat-killed E. faecalis で刺激後 IL-12、IL-10、CCL17、CCL1、CXCL13 の分泌を ELISA で、CXCL9、iNOS、CD163、mannose receptor、ARG1、Chu313/Yml にて、LIGHT の mRNA 発現を RT-PCR で検討した。また MΦ と感染抵抗性に対する CCL1 の影響を調べるため、12 週 CAC-mice に CCL1 antisense ODN ( $10 \mu\text{g}/\text{mouse}$ ) を 1 日 2 回 2 日間皮下注射した後 MLN MΦ を分離し、CCL1、IL-10 の分泌を ELISA、IL-10 の発現を flow cytometry、LIGHT mRNA の発現を RT-PCR で検討した。さらに同細胞を heat-killed E. faecalis 刺激後に IL-12 の分泌を ELISA にて、IL-12、CCL1、CD163 の発現を flow cytometry で検討した。さらに CCL1 antisense ODN 投与後マウスから

MLN MΦ を分離し  $3 \times 10^5$  CFU の E. faecalis と共培養を行い殺菌能を検討した。In vivo では、12 週 CAC-mice に CCL1 antisense ODN を皮下注射後 E. faecalis、K. pneumoniae を各々感染させ生存率を検討した。

#### 【結果】

CAC-mice は control mice に比べ感染後殆どが死に至り、長期のアルコール投与により感染抵抗性が低下したと考えられた。様々な免疫細胞を欠損させた免疫不全マウスに E. faecalis を経胃的に感染させたところ、MΦ の欠損したマウスの腸間膜リンパ節で菌の増殖を認めており MΦ が感染抵抗性に働く主要免疫細胞であると考えた。そのため CAC-mice 由来の MΦ の性質を ELISA、RT-PCR で検討したところ、MΦ は  $CD163^+ IL-12^- IL-10^+ CCL1^+$  cells、すなわち M2bMΦ となっていた。CAC-mice に CCL1 antisense ODN を皮下注射した後腸間膜リンパ節より MΦ を分離したところ同細胞は  $IL-10^-$

$CCL1^- LIGHT^-$  cell、つまり resident MΦ と考えられ、M2bMΦ の性質を失っており、CCL1 が M2bMΦ の性質の維持に必要であることが解った。さらにこの細胞に細菌刺激を加えると、 $IL-12^+ CCL1^- CD163^-$  cell すなわち M1MΦ となった。CCL1 antisense ODN を投与した CAC-mice に E. faecalis、K. pneumoniae を各々感染させたがいずれも生存した。

#### 【結論】

CAC-mice が E. faecalis、K. pneumoniae に対し易感染性であり、CAC-mice に優位に存在する M2bMΦ がその易感染性の一因であることを発見した。また CCL1 antisense ODN 治療を行うことにより、CAC-mice に優位に存在する M2bMΦ をレジデント MΦ に先祖帰りさせ、さらに細菌刺激を加えることで M1MΦ に転換し宿主の感染抵抗性が改善させうることが判明した。

## 東北・九州震災遺児支援チャリティーコンサートのお知らせ

ヴァイオリニストとしてご活躍の北野裕孝先生（学 61 期）が出演されるチャリティーコンサートが下記の要領で開催されます。

尚、入場は無料となっており、会場で受け付けられた義援金は、「あしなが育英会」を通じて東北・九州震災遺児の支援に役立てられます。

#### 記

日時：平成 28 年 10 月 10 日 午後 12 時 30 分～

場所：高槻現代劇場 中ホール

（高槻市野見町 2-33 ☎072-671-1061）

主催：一般社団法人 大阪国際音楽アカデミー

入場無料（全席自由） ※要整理券

<整理券配布について>

期間：9 月 15 日（木）～10 月 10 日（祝）当日まで

場所：高槻現代劇場事務所（高槻市民ホール 3F）にて順次配布

※お一人様 2 枚まで。200 枚限定

時間：10 時～17 時

コンクール事務局（osakaimc@gmail.com）でも受け付けています。

## 事業報告 学生生活虎の巻 その 3 若手の先生と学生の交流の場が 設けられました！

6 月 18 日（土）、現役学生からの提案で、6 年生や卒業間もない先生と、学業に励む学生との交流会「学生生活虎の巻」が開催されました。卒業してから苦労しないために、どのような学生生活を過ごすべきなのか、先輩から後輩へ貴重なメッセージが届けられました。先生方、学生の皆さん、お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました

#### プレゼンター／市原慎也先生（学 64 期）



そして「将来が安定」であること。それから「好きなことを仕事にできている」こと。最後は「モテる」らしいこと（笑）です。

僕は今初期研修医をしています。研修医をしていく中で僕が大切に思っているのは挨拶・礼儀・5 分前行動、それと空気を読む力、体力、フットワーク、要領と愛嬌です。この部分は初期の研修医の時代でしか養えないものです。技術や知識に関しては後から追加することができますから。もうひとつ追加することがあるとすればチームワークです。やはり医療はチームワークが大切です。

つまり、これらのことは全て、学生生活の中でも大切なことばかりです。

#### あつという間に 過ぎ去った 6 年間

住友病院で研修医をして 2 年目になります市原慎也と申します。せっかく貴重な時間をいただくので、学生の皆さんにひとつでも何か持って帰ってもらえればと思います。少しテーマを絞ってお話しさせていただきます。トピックスは大きく分けて 4 つです。まず僕の学生時代についての話です。一番時間を費やしたのは部活です。ゴルフ、軽音、ESS、国際交流部に所属していました。そして時期とタイミングに恵まれてカナダやハワイ、韓国など留学にも行かせていただきました。そんなことをしているうちに、僕の学生生活は一瞬で過ぎ去っていったような感覚です。

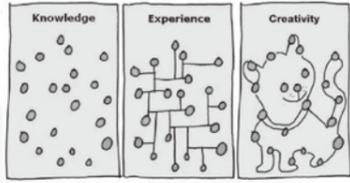
#### 学生時代に 社会人の基礎を身に付ける

皆さん医者についてはどんなイメージを持っていますか？ 最近はドラマや映画の題材になることも多いですね。僕なりに医者のいいところについて考えてみました。まずは「人から感謝されること」。

#### 学生時代に培った「点」を 経験の積み重ねで線となる

僕はアップル社の創業者である、スティーブ・ジョブズが大好きなのですが、ジョブズは大学を一度中退しています。中退してから結構長い間もぐりの学生としてカリグラフィを学んだそうです。そのことがアップルを生み出すことに大きく影響しました。そのことを振り返ってこう言っています。「君たちは未来に先回りして点と点を繋ぐことはできない。できるのは過去を振り返って繋ぐことだ。だからいまある点と点がいつか繋がるものだと信じていかなければならない」。つまり、いろんな経験が時を経て、ぱっと振り返ってみると線となっていて、それが新しいものとして生み出されるようになるということです。自分自身のことを考えても、学生時代に部活や遊びや留学、勉強といったことが、そのときはただの点にしか過ぎなかったのですが、今振り返ると、その経験がすごく自分にとって重要なファクトになっています。

Steve Jobsはこう言いました



未来に先回りして点と点を繋げることはできない。君達に出来るのは、過去を振り返って繋げることだけ。

だから、点と点がいつか何らかの形で繋がると信じなければならない。

Steve Jobs

### プレゼンター／末方 由さん (6 年生)



## ESS に費やした 6 年間

6 年生の末方 由です。すばらしい先生方や友人とともにこの場で発表できることをとても光栄に思います。学生生活の中では、主に ESS での活動に力を入れていました。そしてそれを束ねる西日本医科歯科薬科学学生 ESS 連盟にも参加していました。副部長、ディベート部門チーフ、スピーチ部門チーフ、そして大会を 2 つ創設し、8 つの賞もいただきました。

## 海外で得た 数多くのこと

このようにたくさんの方をやらせていただいで、私は「Satisfaction」を得ました。というのも、毎回全力を尽くしたからだと思っています。学外でもハワイ大学のワークショップに出たり、グラスゴーに滞在したり、先日ハワイに行きました。外の活動では Inspiration を得ました。様々な背景を持った人々（経済学者や工学者といった他の職業の人々さえも）とお話するチャンスを得たからです。

様々な人と意見を交換することは、とても貴重な体験でした。

## 海外で得た 数多くのこと

私はこの 5 年半の間、ただただ楽しみました。そして素晴らしい時間を過ごしました。それは、単なる一瞬の興奮ではありません。私が言う「楽しみ」とは、私たちがチャレンジに出会わせてくれるものです。私たちが前に進むよう後押しし、直感的な欲望をより満たしてくれるものです。私が今話してきたことはこのような「楽しみ」です。

私は皆さんに 3 つの「本当の」楽しみ方を提案します。それは、Satisfaction、Inspiration、Relation です。inspiration は、私たちが夢中にさせ、新しい観点を与えてくれることによって、未来への新しい道筋を作ってくれるでしょう。何かに参加し、何かをすることによって得た全てのものとの努力によって satisfaction を得ます。それは自信になり、一生の宝物になります。そして relation。私は本当にたくさんの友達を得ました。けれど単なる友達ではありません。鏡のような存在なのです。私の弱点を隠し、私の強み見えるようにする鏡です。

ただひたすら「楽しみ」に向かって行ってください。扉はいつも開いています。そして、ひたすらアクティブに参加してみてください。あなたが今まで得たものや、今までの全ての努力を使って。

※末方さんは全て英語でスピーチされました。翻訳協力／安原千晴さん



### プレゼンター／駒井 翼先生 (学 64 期)



## 様々な経験を 積んでほしい

研修医 2 年目の駒井と申します。僕は「学生という職業」というテーマでお話しさせていただきます。学生時代はお金と責任はないけれど、時間はあるし自由もあるし、経験を積むこともできますよね。経験という捉え方は様々だと思うのですが、研修医になると臨床経験は本当にたくさんできます。でも学生時代は人生経験がたくさんできると思うんですよね。そういう時間を大切にしてほしいと思います。

## 早い時期から 臨床現場を見ておくこと

僕は 1 年、2 年のときは結構真面目に勉強してたんですね。でも何だかじっくりこなかったんです。でも臨床が始まって全然ついていけなかったんですね。知識があっても経験がないので、何のことだかよくわからないんです。知識と経験はかけ算だと思うので、そのあたりをバランス良くやらなきゃダメだということが分かりました。残念ながら医学生は知識所得に偏りすぎてしまうので、臨床現場を知る努力をしてほしいなと思います。3 年や 4 年になったら、ぜひ病院の見学に行ってみてください。聞くところによると、1 年生でも 2 年生でも行っているところはあるそうです。

## 基礎医学は やはり大切です

矛盾することを言うようですが、実は 1、2 年のときに真面目に勉強していたことを後悔はしていません。むしろやって良かった。というのも、臨床

### 「知識」と「経験」のバランス

- ・知識と経験は「かけ算」
- ・医学生は「医学知識」に偏りすぎ
- ・将来のために医学を真面目にやりたければ、座学よりも現場の声を聞け！現場へ飛び出せ！
- ・読書から得られる知恵も、学生時代に多くのことを経験すれば数十倍になる！



現場に出るようになって、基礎医学の重要さに気づいたからです。今は教科書を開いて勉強する時間はありません。現場に出て、あの時クソ真面目に勉強していて良かったなと気づく瞬間があります。基礎医学が勉強できるのは学生のときだけなので、ぜひがんばってみてください。

## 学生という職業を しっかり勤めあげてください

今回テーマにした「学生という職業」についてですが、学生という職業にある皆さんが、心からうらやましいです。もう二度と手に入らない存在です。絶対に無駄にしないで欲しいです。僕は医学生は医師になるまでの単なるプロセスではないと思っています。学生という職業にはたくさんの特徴があります。時間があって、自由もあって、友だちにも恵まれます。そして何かをして失敗してもダメージが少ないというメリットもあります。単なる学生として漫然と過ごすのではなく、貴重な職業というつもりで、全力で過ごしてください。最後になりますが、医療の現場を少しでも多く見に行ってください。必ずモチベーションが高まります。そこまでするのはハードルが高いと思う人は、せめて僕らの話を聞きに来てみてください。先生としてではなく先輩として、僕たちはいつでも皆さんの力になりたいと思っています。

プレゼンター／森 洋介先生（学 64 期）



## 部活を通じて たくさんの方を学びました

大阪医科大学で研修医 2 年目になります森 洋介です。とにかく 6 年間、卓球と ESS、LSC の部活動に専念し過ぎて頻りに落第を繰り返してきました。あまり見習ってほしくはないですが、それでも自分自身としては 6 年間がんばり続けて良かったなと思っています。

今日は遅刻をしてしまって、いろんな方にご迷惑をおかけしてしまいました。苦勞自慢は良くないと思うのですが、実は今日は余裕で来れると思っていたんです。昨日も夕方 5 時までほとんど仕事が無かったです。当直に入っていきなり「バイクでコケました」という連絡があって、すり傷程度かと思っていたんですが、行ってみると左半身が血まみれの患者さんでした。「え？ これバイクで転んだんですか？」と聞くと「6m くらい飛びました」とのこと。人が 6m も飛ばされると酷いことになるんですね。まず出血を止めないとその後の処置ができません。出血が酷すぎてどこから出ているのかが分からないんです。結局かなりの時間をかけて止血し、今朝の 5 時くらいに処置が完了しました。皆さん解剖学を学んでいると思いますが、これは絶対に大切です。今回の止血にも役立ちました。

さて、学生のうちに何をしておくべきなんだろうということを、僕の同期の先生たちにも聞いてみました。5 人のうち 3 人は「とにかく遊びなさい」と。あとは「医学部以外の友だちを大切に」「旅行、特に海外に行っておくといい」とのことでした。

そして僕から伝えたいことです。僕の場合は卓球だったんですが、部活に打ち込んでみてください。一生懸命取り組むことにも意義がありますが、人間関係を学べるということは非常に価値があると思います。

## 本日のメニュー

自己紹介
症例提示
研修医の声
学生の内にやっておくべきこと
まとめ
伝えたいこと

プレゼンター／平野恵里子さん（6 年生）



## 出会いに恵まれた 私の学生生活を振り返ってみて

6 年生の平野恵里子です。どうぞよろしく申し上げます。1 年から 4 年の夏までは陸上部とバイト中心の生活でした。トライアスロンにも参加しました。それ以降は、今まで興味はあったけどできなかったことを始めようと思い、英論文の抄読会に参加したり、そこでハワイ大学のワークショップを紹介していただいて参加してみました。でももう一回、ちゃんと目的を持って海外に行きたいと思い、マヒドン大学の熱帯医学ワークショップにも参加しました。また 6 年生に入ってから、日本産婦人科学会の学生フォーラムに参加したり、近森リハビリテーション病院で実習もさせてもらいました。

## 後悔のない 学生生活を

こうやって「参加する」機会は多かったのですが、自分から「発信する」ことが少なかったことを後悔しています。あとは自信を持ってやり切ったと言えることも少なかったと思います。逆に学生生活で良

かったと思えることは、勢いを大事にしたこと、学生であることをフル活用したこと、大学生らしい生活を送れたことなどがあります。皆さんに送りたいメッセージは、自分一人で何かに取り組むよりもたくさんの仲間をする方が絶対にいいと思います。それと出会いを大切にしてほしいです。



プレゼンター／里見英俊先生（学 59 期）  
（大阪医科大学病理学教室）



## 病理の仕事内容は こんな感じです

大阪医科大学病理学教室の里見英俊です。ここに来てくださった皆様が、有意義な学生生活を送ることができるように、言葉を贈ります。病理の仕事内容を紹介します。しつこい咳に悩まされている患者さんが病院にやってきました。内科の先生が診察をして、レントゲンを撮ると怪しげな影が発見されました。放射線科の先生が怪しげな部位を狙って針生検をして、検体を病理部に提出。ここからが順番です。術前の病理診断、術前カンファレンス、術中迅速診断、術後の病理診断、そして 5 年後、10 年後の患者さんとの関わり…病理部で働く医師は常に臨床医とともに、陰ながら患者さんに寄り添って、大切な診療の一端を担っています。

## 自信を持って成功を収めたと 言えること

僕は人生で、1 つ大きな成功を収めました。それは、自分が心から好きなことを仕事にできたことです。人は、将来の結婚相手に出会った瞬間、頭の中で鐘がなるらしいという話を聞いたことが有りますか？僕の場合は、病理医という職業を知った瞬間、頭の中で鐘が、ガラン、ガランと鳴ったのを今でも鮮明に記憶しています。自分が好きなことを毎日しているわけですから、楽しい毎日です。自分が好きなことを仕事にして、充実した幸せな毎日を送るための秘訣、それは、ありのままの自分を出すこと、ありのままの自分を知ることです。ありのままの自分を知るためには、子供の頃を思い出してみてください。僕は小さいころから、外で遊ぶことよりも家の中で本を読んでいることの方が好きな子供でした。図鑑をみたり、辞書を引いたり、わからないこと、不思議に思ったことを解決することにやりがいを感じる子供でした。物心がついてからは、いろんな本をはしごして、調べものに夢中になっており、自分自身、勉強好きだと分かりました。病理学は、勉強することが仕事といわれています。勉強することが仕事といわれる病理と、勉強好きの僕はベストパートナーです。実際、病理組織診断には、莫大な知識量が必要で、分厚い百科事典を傍らに何冊もおいて、それらを道しるべに診断をします。僕は、患者さんと話すこと、患者さんを治療することも好きですが、こつこつと調べ物をしながら、陰ながら人を支えることにやりがいを感じます。自分に合った仕事を見つけることができていることに本当にうれしいです。

## 今、思うこと

- ☆自分ひとりよりも『誰かと』する方が楽しい(^ ^)
- ☆出会いを大切にすると今更に来てきた関係も大切にする。
- ☆挑戦するハードルは低く。

- 卒業後は・・・
- ★自分から周りに発信していく生き方・働き方がしたい。
- ★刺激をもらうのではなく、与える方へいきたい。

ご清聴ありがとうございました



## 自分自身の よき理解者に

皆さん、まず、自分自身を好きになって、自分自身のよき理解者となってください。ありのままの自分に向き合い、自分の好きなことをみつけ、それをやり続けてください。自分と対話して、自分の得意なこと、苦手なことを自分に教えてもらって、理想の出会いを探してください。自分が本心から楽しんでやっていることが、誰かを喜ばせることは素敵です。そして、自分の好きなことをやり続ければ、必ずいいことが起きます。僕の場合は、卒業の時にももらった学長賞であり、病理の仕事です。忙しいながらも充実したエキサイティングな毎日です。



## 一度きりの人生を ご機嫌に過ごしてください

「ありのままに」は、アナと雪の女王の主題歌に倣いました。劇中で、エルサが自分の生まれ育ったお城を飛び出して、自分の秘めた力を思う存分発揮できたときに歌う喜びの歌です。自己発現に成功した自分への喜びの歌と考えます。僕は、エルサの気持ちがとてもよくわかります。自分が得意で好きなことを存分にできることはかけがえない喜びですし、さらにそれが誰かの役に立ったときには、大きな達成感を感じます。一度きりの人生を御機嫌に過ごすために、ありのままの姿を見せて、ありのままの自分になってください。何も怖くありません。自分を好きになって、自分を信じて、光浴びながら歩きだしてください。皆さんが夢いっぱい、笑顔いっぱいの学生生活を送ることができるよう、お祈りしています。



## 支部だより ●●●●

### 平成 28 年度 仁泉会高槻支部総会報告

文責／合田公志（学 42 期）

平成 28 年 6 月 18 日（土）、アンシェルデ・マリアージュで平成 28 年度仁泉会高槻支部総会が開催されました。晴天に恵まれ、暑い夏日でしたが、御来賓 8 名、会員 33 名の計 41 名の先生に出席していただきました。

総会では、保田 浩先生が司会を行い、議事に先立ち前年度物故会員となられた鈴木 哲先生、秋山喜昭先生、近藤利之先生、中川英隆先生、丸茂 仁先生、鈴木元太郎先生、市川文雄先生、土屋友之先生に対し、黙祷を行いました。最初に支部長の樫原茂之先生より挨拶及び会務報告、そして仁泉会理事長 河野公一先生よりご挨拶と仁泉会の現状のご報告をいただきました。その後、議事として幹事の陵本清剛先生より平成 27 年度収支決算の説明があり承認されました。また、今年役員改選の年であり役員

を長きにわたり務められた市岡五道先生が勇退され、新任として峰晴昭仁先生が入られました。また、副支部長を務められていました木野昌也先生が会計監査に、幹事を務めておられました保田浩先生が副支部長に就任いたしました。その他幹事は留任となりました。その他議題として、高槻支部特別会員の設立について討議いただき、他大学出身かつ大阪医大で研修・従事などをした高槻市医師会 A 会員を年会費無料で高槻支部における特別会員とすることとなり、講演会や懇談会などにお誘いすることになりました。また、母校 90 周年記念事業募金の件についても話し合わせ、高槻支部として募金することとなりました。

恒例の学術講演会では、座長を稲毛昭彦先生が務め、小児心臓血管外科専門教授根本慎太郎先生より「高槻から打ち上げる下町ロケット・リアルガウディ計画」のタイトルで御講演いただきました。心臓血管外科の一般的な内容から先生の専門にされておられる小児心臓血管外科領域までお話しいただき、特に小児の特殊性と問題点についてあげられました。小児の外科治療は病院内での治療のみならず退院後のケアま



ご参加いただきました先生方

が必要で地域を巻き込みチームアプローチに尽力されているとのことでした。また、小児に適した手術素材が乏しく、自ら新素材の開発が行われているとのことでした。この新手術素材の開発過程を参考に、池井戸潤氏が下町ロケット 2・ガウディ計画を書きあげられたとのことでした。その後、本作品に医学監修として参加され、出版までの裏話やドラマ化の際の苦労話など本当に時を忘れるほど興味深い講演となりました。

懇親会が合田の司会で始まり、最初に大阪医科大学学長大槻勝紀先生より大学の近況など、ご報告がありました。その後大阪医科大学附属病院病院長内山和久先生と高槻市医師会会長丸山優子先生よりのお言葉をいただき、市岡五道先生による乾杯のご発声で開宴となりました。御来賓の教授の先生方より近況報告やご挨拶をいただきました。また、米寿のお祝いを王龍三先生に、傘寿のお祝いを田崎晴彦先生、丸山俊郎先生に、喜寿のお祝いを花房正彦先生、横山永先生に、古希のお祝いを長尾光先生にさせていただきました。その後、今回初参加の田中

源重先生、中山明子先生、谷本芳美先生にユーモアに富んだ自己紹介をしていただきました。今回の総会にご来賓、先輩方とともに、我々若手も参加させていただき、和気あいあいとした有意義で楽しい時間を過ごさせていただきました。今年にご出席いただけた先生方がやや少なめでしたので、来年度は多数の先生方の出席をお待ちしております。



ご講演いただきました根本慎太郎先生  
(小児心臓血管外科専門教授)

出席者 (敬称略)

【御来賓】

河野公一 (仁泉会理事長) 大槻勝紀 (学長) 内山和久 (附属病院病院長、一般・消化器外科教授)  
佐浦隆一 (リハビリテーション医学教授) 近藤洋一 (解剖学教授) 寺崎文生 (教育センター専門教授)  
奥田準二 (がんセンター特務教授) 根本慎太郎 (小児心臓血管外科専門教授)

【支部会員】

市岡五道 (学 10 期) 丸山優子 (学 12 期) 原卓司 (学 13 期) 富士原 彰 (学 13 期) 横山 永 (学 13 期)  
東原康雄 (学 15 期) 佐々木 学 (学 16 期) 小野秀太 (学 17 期) 飯田 稔 (学 18 期) 伊藤正尚 (学 18 期)  
井上隆夫 (学 18 期) 吉田政雄 (学 18 期) 石河清彦 (学 20 期) 大津彌平 (学 21 期) 後藤研三 (学 21 期)  
高松順太 (学 21 期) 樺原茂之 (学 22 期) 西本 孝 (学 23 期) 北川 眞 (学 27 期) 中島立博 (学 28 期)  
稲毛昭彦 (学 31 期) 田中源重 (学 31 期) 保田 浩 (学 31 期) 中山明子 (学 32 期) 新井基弘 (学 36 期)  
陵本清剛 (学 36 期) 本郷仁志 (学 38 期) 中小路隆裕 (学 40 期) 合田公志 (学 42 期) 愛宕利英 (学 43 期)  
川部伸一郎 (学 43 期) 峰晴昭仁 (学 47 期) 谷本芳美 (学 50 期)

## 支部だより ●●●

### 仁泉会阿倍野支部納涼会の報告

文責 / 福本敏子 (仁泉会阿倍野支部支部長・学 24 期)

平成 28 年 7 月 23 日 (土) 午後 6 時から、ホテルニューオータニ大阪内の『花外楼』において納涼会を開催しました。この度は、昨年ご体調をくずしておられた藤本正三先生 (学 2 期) のご快癒のお祝いと、5 月 14 日に開催された仁泉会大阪府支部連合会支部長会の報告を兼ねて開催しました。ご都合のつく先生には奥様のご同伴をお願いさせていただき、大阪城天守閣が目の前に見える会場に 15 名が集いました。

伊賀千洋先生の司会の元、私 (福本) が支部長挨拶と支部長会報告をさせていただいた後、お元気に公務に復帰された藤本正三先生とご長女の山口美喜代様に花束をお贈りさせていただきました。藤本正三先生は、お礼の言葉とともに、これまで歴任された阿倍野区医師会長、大阪医大理事長そして現在も務めておられる日本学校保健会理事としての思い出やご苦労話を語ってくださいました。

阿倍野支部副支部長の新宅敬夫先生のご乾杯のご発声の後、花外楼ご自慢の懐石料理をいただきながら、親しく歓談いたしました。今までの総会は会員だけでしたが、今回は夫婦同伴という事もあり、ライトアップされた大阪城天守閣を眺めながら座も華やき大いに盛り上がりました。

普段は院長、部長という肩書で頑張っている皆様も仁泉会に参加された時は大学時代に帰ったように先輩、後輩の世界に袴を脱いでざっくばらんに打ち解けておられるようにお見受けいたしました。

宴もたけなわでしたが、大阪鉄道病院部長の前田隆義先生の閉会の挨拶で秋の総会での再会を約して名残を惜しみつつ散会いたしました。



参加者 (敬称略)

前列左から 中野久美子 (学 34 期) 岡 民子 (学 38 期) 伊賀先生の奥様 藤本正三先生 (学 2 期) 藤本先生のご長女様  
前田先生の奥様 福本敏子 (学 24 期)  
後列左から 坂井昌弘 (学 43 期) 江村成就 (学 39 期) 岡成樹 (学 35 期) 中野晋吾 (学 34 期) 福本健治 (学 24 期)  
新宅敬夫 (学 23 期) 前田隆義 (学 27 期) 伊賀千洋 (学 29 期)



生（学 31 期）、井尻慎一郎先生（学 31 期）、大竹義章先生（学 36 期）、辻本 豪先生（学 27 期）、竹内陽史郎先生（学 33 期）、田中康敬先生（学 37 期）が発表され、出席の先生方に安藤会長から金一封が授与されました。

中本から 5 年ぶりの会員名簿作成等の支部報告の後、藤原弘久先生を議長に選出し議事に移りました。今回は会長他の役員の変更が行われ、増井裕嗣会長以下の新役員は満場一致で承認されました。米田豊先生の会計報告、佐々木義信先生の監事報告、増井新会長の事業報告は全て承認されました。

特別講演では中本の司会で、神戸市立医療センター中央市民病院腎臓内科部長の吉本明弘先

生（学 44 期）による「腎から全身を診る～CKD に伴う合併症を予防するために～」を聴講しました。日常診療にすぐに役立つ興味深い内容で、多くの先生方の質問等もあり充実した講演となりました。

恒例の全員での記念撮影の後、懇親会々場へと移動しました。会に先立ち全員で学歌を斉唱し懇親会を開会しました。今回は新たな試みとして司会進行役を定めず、各々が自主的にマイクの前に立ち和気あいあいとした雰囲気の中で会を進めました。そのままの雰囲気でホテル最上階のラウンジへと二次会の場所を移し、この日も長い夜へと続いて行きました。

## 平成 28 年度仁泉会神戸支部 ゴルフコンペ報告

文責／中本博士（学 39 期）

神戸支部総会の翌日、6 月 19 日（日）に美奈木ゴルフクラブで行われました。昨年の日本女子プロゴルフ選手権の開催場という難コースで雨天の悪条件が加わり、出場者のモチベーション低下が心配されましたが無事に全員が完走しました。

優勝は 3 年連続で中本（グロス 73、ネット 71.8）でした。2 位は森義孝先生（グロス 95、ネット 75.8）、3 位は日下孝明先生（グロス 106、ネット 77.2）でした。その他の参加者は岡博行先生、福永晶先生、安藤嗣彦先生の計 6 名でした。雨の中、大変お疲れ様でした。



## 支部だより ●●●●

### 平成 28 年 仁泉会広島県支部総会報告

文責／清水 泉（学 28 期）

平成 28 年 6 月 11 日（土）18 時 30 分より、ANA クラウンプラザホテル広島において、平成 28 年仁泉会広島県支部総会を行いました。

出席者（敬称略）は、大崎洲（学 12 期）、福永晶（学 14 期）、平田忠範（学 19 期）、八木徹（学 20 期）、灰塚隆敏（学 23 期）、松野堅（学 23 期）、飯島崇史（学 25 期）、小野誠治（学 28 期）、清水泉（学 28 期）、岡東周一郎（学 31 期）、岸和彦（学 31 期）、伊達幸生（学 32 期）、中崎育明（学 34 期）、貞岡達也（学 35 期）、湯川修（学 36 期）、平賀正文（学 38 期）、田村健司（学 42 期）、津田幹夫（学 43 期）、長尾光史（学 44 期）、芳谷伸洋（学 45 期）、藤村憲崇（学 49 期）、谷充理（学 50 期）、久保田益亘（学 54 期）、松村誠也（学 56 期）の支部会員 24 名でした。

なお、田村先生は山口県光市から出席されました。

谷幹事の司会で支部総会が始まり、まず、小野支部長（仁泉会理事）より開会の挨拶と仁泉会理事としての活動状況を話され、その後、この 1 年間に物故会員になられた高 15 期の神田一郎先生、学 1 期の池田多加志先生、学 21 期の八木敦夫先生、学 25 期の米花孝文先生に対しまして黙祷いたしました。さらに岡東幹事より会計報告、清水より監査報告があり、総会で承認されました。

総会後の特別講演では、小野支部長に座長を御願いし、仁泉会副理事長の安藤嗣彦先生（学 20 期）に「仁泉会ならびに大阪医科大学の現況と今後のビジョン」という演題で御講演いただきました。御講演内容は以下の通りで、大学においては、高槻中高との合併、大阪薬科大学との法人合併、三島南病院を分院化し運営開始したこと、健康科学クリニックについて、手術棟の建設、BNCT の設置、大阪医科大学の建学の精神「至誠仁術」について、イノベーション、グローバルイノベーションなど大学の今後



の目標について、仁泉会については、法人改革後の状況、仁泉会基金を奨学金に当てていること、同窓会活動が低下傾向にあり、現在、その対策を進めていることなどでした。

講演会終了後、その場で集合写真を撮り、伊達幸生幹事の司会で懇親会を行いました。まず、会員慶事としまして、喜寿の福永晶先生（学 14 期）と藤村節子先生（学 15 期）、古希の佐々木尚先生（学 21 期）と藤井俊宏先生（学 21 期）と塙水尾哲也先生（学 22 期）と高場憲夫先生（学 30 期）が紹介されました。慣例に従い、古希の 4

人の先生に記念品が贈呈されます。いつまでも御元気で、活躍されることを願っております。宴席中、中崎幹事より 5 月 29 日に呉市の郷原 CC で行われましたゴルフコンペの成績発表をしていただき、さらに出席支部会員の自己紹介と近況報告などで大変盛り上がりしました。なお、今回は若い先生方の出席が多く、最近では最も多くの支部会員が出席されました。

最後に、恒例となりました学歌を全員で肩を組み斉唱し、盛況のうちに、21 時 25 分に終了しました。



## 大阪医科大学「中央手術棟」写真集!

今年 3 月に完成した中央手術棟の写真をいくつかご紹介します



エントランス



4 階スタッフステーション



3 階 OP1



4 階 HCU

## クラス会だより

### 平成 28 年度「学四会」開催

文責／西村 保（学 4 期）

「学四会」とは学部 4 期生の同窓会の名前です。卒業以来ほぼ毎年開催してきましたが、今年の「学四会」は去る平成 28 年 6 月 18 日（土）に阪急百貨店 13F にある「京都つる家」で開催されました。当日は 9 名の同窓生が集まりました。

私達「学 4 期生」は昭和 30 年卒業ですから今年で卒業 61 年が経ち、ほぼ全員が 80 才後半となりました。当然ながら 87 名の同窓生の内、すでに 60 名が物故しており出席者は年々少なくなるのは仕方がありませんが、その中から 9

名の出席がありました。出席者の 9 名のうち、2 名は車椅子、1 名は杖をつけておりましたし、残りの 6 名の足腰はガタガタで難聴気味でした。しかし頭と口だけは達者で学生時代の思い出話から始まり、侃々諤々の議論で大いに盛り上がり、時の経つのも忘れましたが、予定より 1 時間遅れて午後 9 時過ぎに来年の再会を約して散会しました。何時もながら真に楽しい会でした。そしてクラス費の中から、当日 9 名の出席と、来年の母校創立 90 周年記念事業の 9 に因んで母校に 9 万円の募金を、熊本地震に 5 万円の義捐金を「学四会」有志として送った事を付記します。

当日の出席者は下記の如くです。

雨森・太田・川上・小林・斉藤・東・藤沢・平井・西村 以上 9 名。



さて「学四会」の諸兄よ。私たちは少数の昭和 6 年生まれを除いて大部分の者は昭和 4 年か 5 年生まれです。従って来年（鬼が笑いますが）昭和 4 年生まれのは満で、昭和 5 年生まれは数えて米寿を迎えます。それで来年は、ささやかながら米寿祝いを兼ねた「学四会」を開催しようと思っています。お互い明日の日は分かりませんが、元気で再会するのを楽しみにしております。

## クラス会だより

### 学部 18 期 (S44 年卒) クラス会

文責 / 嘉村智美 (学 18 期)

我々は、岡山存在の弓狩、嘉村が幹事となり、6月18日・6月19日と岡山市全日空ホテルでクラス会を開催しました。この3年ほどのクラス会の流れとして、6月20日前後でしたのでこの時期を選びましたが、参加者は、12名(パートナー含む)と少人数でした。談話、宴会と楽しむことができました。代議員の武井先生の報告、大学寄付金の件の話もありました。九州より出席の堀永・安部先生に熊本地震の影響について話をいただきました。談話の途中で、イタリア出

張中の櫛原先生より国際電話を入れてもらいました。又、東京在住の羽山先生に参加者全員で電話をしたりしました。

6月19日は、瀬戸大橋近辺を散策しました。京都宮津より車で宮地先生には出席していただきました。武井代議員にも大阪より車で出席していただきました。京都からの竹内先生には、京漬物のお土産を頂きました。山城先生、吉田明先生には、宿泊なしの出席をして頂きました。

来年のクラス会は、博多という話も出てきました。段々と大学の近くの開催が多くなると思います。

来年のクラス会が開催される事を期待しながら、ご参加いただいた先生方にお礼を申し上げます。



## クラス会開催にあたって

クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jimu@jinsenkai.net

## クラス会だより

### 学 25 期卒業 40 周年学年クラス会

文責 / 中 透 (学 25 期)

卒後 40 周年を記念して H28 年 7 月 2 日 (土) 午後 6 時よりホテルグランヴィア大阪 20 階鶴寿の間にて大阪医大 25 期学年クラス会が行われました。

少し顔と名前が一致しない同窓生がいる中、幹事の司会で会が始まり、まず逝去された迫(大島)雅美先生、永見義隆先生、田吹和雄先生、田村雅敏先生、米花孝文先生への黙祷が行われました。

今年母校心理学教授を退官された千原先生よ

り母校の発展と現状などについてお話し頂き、乾杯のご発声を高らかにして頂き、和やかに懇親会がスタートしました。

参加者は 43 名でほぼ半分位の先生に参加頂きました。

彼方此方で懐かしい顔に出会い各テーブルは大賑わいの中、一人ずつ前に出て経歴、趣味など自己紹介を改めてしていただきました。

あっという間に時間が過ぎ、最後に大阪医大 25 期学年クラス会を大森英夫先生幹事で学年クラス会を開催することをお知らせして、集合写真撮影後お開きとなりました。

同階の 2 次会会場に 20 人の先生が残り本当に楽しい時間を過ごしました。



参加者 (敬称略)

浅田修二 飯島崇史 石原正 稲垣豊 井上憲夫 上田幸夫 梅垣裕 大島正義 大西洋一郎  
大森英夫 岡博行 片山外一 河崎建人 河野まき 小嶋昭子 庄田博至 白木正裕 杉山雅俊  
多田秀樹 田中孝二 千原精志郎 中透 中川泰洋 西山和夫 子日光雄 野田春夫 橋本忠明  
波多信 前田雅道 松田敏宣 松永高晴 松永由野 松本和基 圓尾耕一郎 圓尾和子 丸岡博史  
水田仁士 都春基 宮越一穂 宮崎和典 三好博文 山田光昭 山本良昭

## 仁泉ひろば

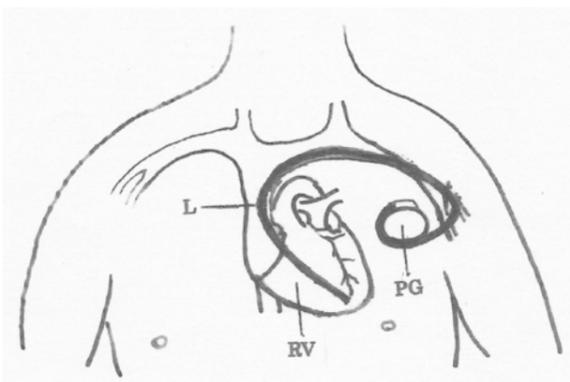
jinsen-park

心臓ペースメーカー最近の話題  
ーリードレスー

文責／佐々木進次郎（学 8 期）

大阪医大で心臓ペースメーカー（PM）植え込みが始まったのは 1966 年 2 月のことであった。当時使用されていた電極は心筋電極で、その装着には開胸を必要とした。心筋電極は断線が起りやすくその交換や修復に悩まされたものである。

1976 年に経静脈カテーテル電極が導入され、開胸の必要はなくなり、電極の寿命も飛躍的に延びた。しかし、この電極にも特有の問題がある。【図 1】に基本的な経静脈心室ペースングを示すが、前胸部皮下ポケットに埋め込まれた発信器からの刺激は、鎖骨下静脈から挿入されたリード線（電極）を介して心室に伝えられる。このような PM の構造のために、以下に述べるような合併症が患者 8 人に 1 人の割合で発生する。発信器関連の合併症に皮下ポケット部の血腫形成や感染、皮膚圧迫壊死などがあり、リード関連のものに断線、絶縁カバーの破損、リード離脱、心臓穿孔、静脈血栓塞栓、感染（局所、全身）、三尖弁閉鎖不全、気胸などがある。

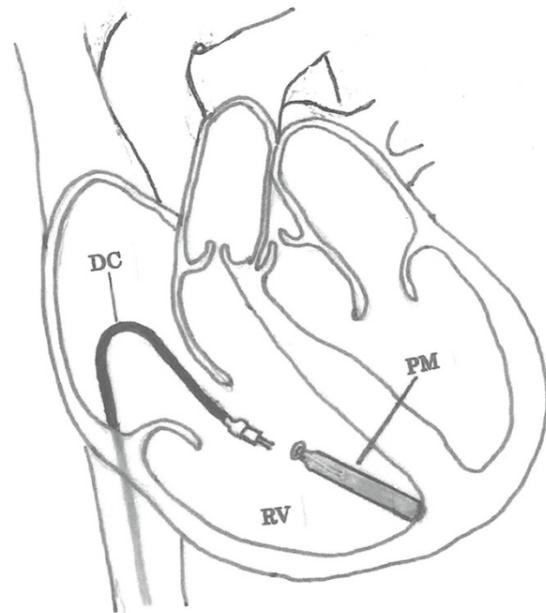


【図 1】経静脈右心室ペースング

PG：発信器、L：リード線、RV：右心室

**リードレス PM の開発：**PM にリード線がなく、発信器を皮下に埋め込むことがなければこのような合併症はほとんど起こらないはずである。その目的にかなう PM として近年米国で

開発されたのが Leadless（リードレス）PM で、St.Jude Medical の NanostimPM、Medtronic の MicraPM がそれである。この PM は発信器とリード線が一体化されており、Self-contained（自蔵型）PM と呼ばれる。超小型の PM を Delivery catheter（送達カテーテル）に装着して大腿静脈から挿入し、右心室心尖部の肉柱間に固定したのち、PM をカテーテルから分離する【図 2】。すでにわが国でも治験が開始されているが、最近、米国から Nanostim と Micra の植え込み後 6 ヶ月の追跡成績があいついで報告<sup>1,2)</sup>されたので、以下にこれらを中心に述べる。



【図 2】リードレス PM（例 Nanostim）

PM を右心室心尖部に固定し、カテーテルから分離。

PM：ペースメーカー

DC：送達カテーテル

RV：右心室

**リードレス PM の適応：**本 PM は右心室単腔ペースング用（NBG コード分類は VVIR）で、心房心室の同期性の保たれる生理的ペースング<sup>3)</sup>は得られない。従ってその適応は、①慢性心房細動に伴う徐脈のほか、②房室ブロックや洞機能不全症候群で身体活動レベルが低いかまたは余命の短い症例、③従来型 PM 植え込み後の感染や静脈血栓のためのリード線を留置できない

症例、④患者の希望、などとなる。

**リードレス PM の特徴と短期植え込み成績：**

【表 1】は Link<sup>4)</sup>が上記 2 つの報告をまとめたものである。PM の体積は 0.8~1.0 cm<sup>3</sup>と極めて小さい。電極の固定方式は両者で異なる。治験の対象数はともに 500 例以上で、植え込み成功率は両者ともに 95% を超えている。重大な合併症（死亡、心臓穿孔、PM 離脱、刺激閾値上昇などを含む）発生率は、Nanostim6.5% で、従来型の 3.2% に比して高く、Micra4.0% で、従来型の 7.4% より低かった。しかし、従来型との比較は直接的なものではなく、結局、リードレス PM における重大合併症発生率は従来型に比べて低い傾向にあるとしている。また、PM 離脱が Nanostim で 6 例（肺動脈 4、大腿静脈 2）、Micra で 1 例（右心室）発生したが、すべて経カテーテル的に回収されている。これら 2 種のデバイスの比較では、一見 Micra の

方が優れているように見える。しかし、両報告の研究デザインが異なり、無作為対照試験でもないことから、直接的な比較は不適切といえる。

**リードレス PM の問題点と将来：**リードレス PM 植え込みの平均追跡期間は 6 ヶ月に過ぎず、有効性や合併症発生率についてはさらに長期のフォローアップが必要である。また、上述した如く、本 PM は右心室単腔用であり、その適応は PM を必要とする患者の一部に限られている。従って、現段階において従来の PM に取って替わるものではない。リードレス PM の適応を拡大するためには、より生理的な心房心室二腔ペースング、さらには両心室再同期ペースングへと発展させる必要がある。発信器とリード線の一体化とペースング部位の複数化という相反する問題をどのように解決するか？ 今後の研究が待たれる。

表 1：リードレス PM の比較（Link<sup>4)</sup>の表を一部改変※）

ペースメーカー	サイズ (cm <sup>3</sup> )	固定方式	電池寿命※ (年)	症例 (数)	植え込み成功率 (%)	重大合併症 (%)	穿孔または心嚢液貯留 (%)	ペースメーカー離脱 (%)	6 ヶ月時の正常作動 (%)
Nanostim	1.0	螺旋	15.0±6.7	526	95.8	6.5	1.5	1.1	90.0
Micra	0.8	タイン	12.5	725	99.2	4.0	1.6	0.14※	98.3

文献

- 1) Rsdyy VY, Exner DV, Cantilon DJ: Percutaneous Implantation of an Entirely Intracardiac Leadless Pacemaker. N Engl J Med 373:1125-1135, 2015
- 2) Reynolds, D Duray GZ, Omar R, et, al: A Leadless Intracardiac Transcatheter Pacing System. N Engl J Med 374:533-541, 2016
- 3) 佐々木進次郎：生理的ペースング. 心臓ペースメーカー・植え込み式徐細動器（田中茂雄編）、メジカルビュー社、東京、PP63-73, 1999
- 4) Link SL: Achilles' Lead: Will Pacemakers Break Free?. N Engl J Med 374:585-586, 2016

## 受章・受賞記事募集

各地で喜びの受章・受賞などがあれば、事務局宛書面、新聞等をお送りくださるか、原稿をお届けください。本誌にて広く紹介させていただきます。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jimu@jinsenkai.net

# 仁泉ひろば

jinsen-park

## 第 29 回 大阪医科大学女医会開催される！

文責／寺崎由香（学 32 期）

2016 年 6 月 25 日土曜日、グランヴィア大阪名庭の間において、大阪医科大学女医会が和やかに開催されました。学 10 期の先生から学 61 期まで、学年差は 51 期にわたり、参加者 51 名でした。

まず、学 10 期の福森清子先生の開会のご挨拶があり、学 33 期 高槻赤十字病院副院長・平松昌子先生から、「ガラスの天井を打ち破れ！ Crack the glass ceiling」と題して御講演頂きました。数少ない女性消化器外科医を増やし、仕事を継続できるようサポートしていく消化器

外科女性医師の活躍を応援する会 Association for Empowerment of Women Gastrointestinal Surgeons (AEGIS-Women) の立ち上げと御活動について、また、ご専門である食道癌の動向と最新の外科的治療について術中写真とともに詳しくご講演いただきました。

その後、学 10 期の岡島明美先生の乾杯のご発声の後、食事を楽しみながら、先生方一人一人の近況報告をして頂きました。年齢を超えて、専門を超えて、日頃お目にかかることのない先生方にお会いし、専門外の知識を得ることができる非常に有意義な時間でした。ベテランの先生方は若い先生の活力と新しい情報を得て、若い先生方は今後に向かって、先輩方の多彩な生き方と、多方面でのご活躍の様子が大いに刺激となったのでは、と思っております。

女性医師だけの集まりなので、わいわいがやがやと品よく(?)盛り上がり、最後は、学



- |                |                |                 |                |                |
|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|
| 岡島明美 (学 10 期)  | 福森清子 (学 10 期)  | 保坂景子 (学 10 期)   | 川西貴美子 (学 15 期) | 今村喜久子 (学 17 期) |
| 阪口昌子 (学 21 期)  | 福本敏子 (学 24 期)  | 長谷川真知子 (学 26 期) | 森田利江 (学 28 期)  | 蘆田ひろみ (学 28 期) |
| 中林まゆみ (学 29 期) | 宮宗直美 (学 32 期)  | 丸川恭子 (学 32 期)   | 寺崎由香 (学 32 期)  | 兜坂 泉 (学 32 期)  |
| 中山明子 (学 32 期)  | 平松昌子 (学 33 期)  | 大森敦子 (学 33 期)   | 長井曜子 (学 33 期)  | 田中啓子 (学 33 期)  |
| 辻口比登美 (学 33 期) | 井上澄江 (学 33 期)  | 別府玲子 (学 34 期)   | 山崎美苗子 (学 34 期) | 祐森弘子 (学 36 期)  |
| 真多浩子 (学 36 期)  | 在田理香 (学 37 期)  | 成山紀子 (学 37 期)   | 本田恭子 (学 38 期)  | 相馬葉子 (学 38 期)  |
| 池田元美 (学 38 期)  | 大宮由香 (学 39 期)  | 赤羽たけみ (学 39 期)  | 中村佳預子 (学 39 期) | 内田育恵 (学 39 期)  |
| 大西敦子 (学 40 期)  | 熊野久美子 (学 40 期) | 神田智子 (学 42 期)   | 権 順華 (学 45 期)  | 曾山明子 (学 46 期)  |
| 鍵谷真希 (学 46 期)  | 明瀬光里 (学 47 期)  | 丸一みどり (学 47 期)  | 村田聡子 (学 48 期)  | 板東園子 (学 49 期)  |
| 安田由紀子 (学 49 期) | 中川祥子 (学 49 期)  | 高橋優子 (学 50 期)   | 出口志保 (学 57 期)  | 和田有希 (学 59 期)  |
| 横山恵里奈 (学 61 期) |                |                 |                | 以上 51 名 敬称略    |

10 期 保坂景子先生の閉会のご挨拶で、お開きとなりました。

来年は、「大阪医科大学女医会 各科医療勉強会」は第 30 回となります。「2017 年 6 月 24 日 土曜日 夕刻 グランヴィア大阪」で開催予定と

しております。  
是非是非、今からご参加予定にいらして下さいませ。  
担当幹事 学 32 期 寺崎由香、学 32 期 丸川恭子、学 33 期 辻口比登美

# 仁泉ひろば

jinsen-park

## 平成 28 年大阪医科大学 香川県人会開催される

文責／萩森伸一（学 38 期）

7 月 2 日 (土)、平成 28 年大阪医科大学香川県人会が摂津富田の「きんなべ」で開催され、真夏のような暑さの中 13 名が集まりました。大阪医大では昭和 50 年代に、四国 4 県合同の「四国県人会」が催されていましたが自然消滅、その後平成 7 年に香川に縁のある人たちで「大阪医

科大学香川県人会」が結成され、以後毎年一度の集まりが 20 年以上続いています。メンバーは香川県出身の先生や学生をはじめ、香川医大卒業、香川の病院に勤務した経験がある、香川に家や神社 (!) を持っているなど、そのバックグラウンドは様々です。



- 当日参加者 (敬称略、卒業年・学年順)
- 島田眞久 (学 14 期) 阿部宗昭 (学 15 期) 米田 博 (学 28 期) 小田明彦 (学 29 期) 瀬尾 崇 (学 35 期)  
在田理香 (学 37 期) 赤木弘之 (学 38 期) 萩森伸一 (学 38 期) 小嵐祥太 (香川医大 H4 卒)  
村越 太 (学 51 期) 濱本龍典 (医学部 6 年) 森 麻奈斗 (医学部 5 年) 前田和人 (医学部 4 年)
- 連絡先：本学耳鼻咽喉科学教室 萩森伸一 (PHS 6312)

毎年学生の参加もあり、今回は 6 回生の濱本君、5 回生の森君、4 回生の前田君が西医体前ながら出席してくれました。これからもできるだけ多くの学生に参加してもらいたいと思いますし、その中から将来大阪に残り、母校の発展に尽力してくれる人がでてくることを期待しています。

「きんなべ」の美味しいしゃぶしゃぶを食べながら、各々が近況報告も兼ねて自己紹介の時

間、島田先生、阿部先生は退職されて久しいのですが大変お元気な様子、嬉しく思いました。うどんや高校野球の話であつという間に予定の 3 時間が経ってしまい、記念撮影をして散会となりました。

このような楽しい香川県人会を毎年開催しています。香川県に少しでも縁のある先生方、私まで是非ともご連絡いただき、来年の会にはご参加くださいますようお願い致します。

## 仁泉会大阪府支部連合会秋季学術講演会のご案内

恒例の秋季学術講演会を今年も下記開催致します。  
講演会後には恒例の懇親会も予定しております。  
ご多用中のところ恐縮ですが、万障お繰り合わせのうえ、  
ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成 28 年 11 月 12 日（土）午後 4 時から  
会 場：ホテルグランヴィア大阪  
講 師：東邦大学 内科学教授 弘世貴久先生（学 34 期）  
共 催：興和創薬株

お問い合わせは仁泉会事務局まで

### 記事紹介コメント

私の同級生（学部 20 期、教養部 1 期生）の木野昌也君とは、入学時よりクラブ活動（硬式テニス部）も同じで、私がキャプテンの時には、彼はマネージャーとして私を支えてくれました。彼は学生時代より優秀で、第三内科入局後も教室をリードする存在で、アメリカにも長期間留学し、研鑽を積んで帰国しています。現在は、北摂総合病院の院長、理事長として診療、経営に忙しい中、高槻市医師会活動にも尽力し、重鎮的な存在です。この度、彼のエッセイが日本医事新報に掲載されていたので紹介いたします。お互いに忙しく、減多に会う機会も無い今日、権威ある全国誌で彼の名前をみつけた時は、懐かしいとともに誇らしくもありました。（学 20 期 安藤嗣彦）

## 冊子 抜

プラタナス ～私のカルテから～

### とらわれない心

木野昌也

医療法人仙養会北摂総合病院理事長・院長

21 歳の男性が救急外来を受診した。2 週間前から風邪症状があり、発熱が持続、3 日前より左右の鎖骨の下あたりに鈍痛が続いている。胸痛は仰臥位や深呼吸で増悪する。血圧は 153/89mmHg、脈拍は 113/分、整。体温 37.7℃。身体所見では頸静脈の怒張なく、肺野に異常はない。心臓の聴診では心音に異常なく、心雑音や心膜摩擦音もない。胸部 X 線では気胸はなく、浸潤陰影もない。心電図に異常はなく、心エコー検査でも心嚢液の貯留はなく、壁運動にも異常はない。しかし、持続する発熱と呼吸や姿勢にて増悪する胸痛、CRP 1.50、白血球数 17200 と増加、心筋トロポニン T 定性 (+) から、救急外来の担当医は心膜心筋炎の可能性を考え、入院とした。入院担当の研修医は、胸痛の鑑別診断の後、ロキソプロフェンを開始した。一方、上級医の循環器レジデントはわずかな心電図変化に気づき、心膜炎の診断を確定した。そのときの心電図が図（最上段）に示すものである。

I、II、III、aVF、V<sub>4-6</sub> 誘導で PR 間隔の低下を認めるが、ここでは代表して II 誘導を示す。PR 間隔の低下は心膜炎の急性期にみられる心電図変化で、「Spodick のサイン」と呼ばれている。心膜炎による心房の傷害電流である。その後、翌日には PR 間隔

の低下は消失。著明な ST 上昇を認めた後、ST 上昇の程度が軽減し、T 波の陰性化を経て 5 週間で元に戻った（図）。この症例は受診時、典型的な症状から心膜心筋炎が十分に考えられたが、確定診断に至ったのは PR 間隔の低下というわずかな心電図変化による。

1973 年、Dr. Spodick は PR 間隔の低下は心膜炎の急性期の一時期にみられる所見であり、82% の患者に認められたと報告した。私は当時、Dr. Spodick のもとで teaching fellow として勤務していたが、心膜炎の心電図変化は特徴的な ST 上昇とその後の T 波の変化として既に教科書に書かれており、PR 間隔の低下という所見に気づく者はいなかった。そんな中で、ほんの一時期にしか観察されないわずかな心電図所見を発見した Dr. Spodick の、何ごとに対しても心を開いた真摯な姿勢と緻密な観察力に感動するとともに、40 年後の今、若い医師がこの所見に気づいてくれたことに大変満足している。

超音波や CT、MRI など、高度な医療技術がなければ成り立たない時代である。しかし臨床の現場では、あくまでも綿密な病歴聴取と身体診察、胸部 X 線や心電図のわずかな変化も見逃すことのない注意深い観察が基本であることを確認する良い機会となった。



# 新聞 切 抜

## 終着点の 見つけ方

多可赤十字病院院長

松浦尊磨さん〈上〉



自宅診療を受け、家族らと触れ合いながら最期を迎える「在宅療養」。多可赤十字病院（兵庫県多可町）院長の松浦尊磨さん（69）は、町と淡路島で30年近く在宅療養を支えてきた。さまざまな最期をみとる中、自分らしく輝いた生きざまにも出会った。2012年春、同病院に赴任した直後に訪問診療した男性が忘れられない。

多可町の山あいに住んでいた足立勇さん。当時（69）。吐血でショック状態に陥り、進行した胃がんが診断された。約10年前から認知症の症状もあった。家族は手術な

## 最後まで自分が「大将」でいられる 家族や田んぼに囲まれた自宅

病院近くの散歩道を歩きながら患者の最期に思いをはせる松浦尊磨さん＝兵庫県多可町中区岸上

まつら たかまろ 1946年、広島県上蒲刈（かみかまがり）島生まれ。大阪医科大学、淡路島の五色診療所で地域医療に携わる。2012年多可赤十字病院院長。同病院ホームページで院長ブログを発信。



ひ孫の渡邊皓清君にご飯を食べさせてもらう足立勇さん＝2012年5月、兵庫県多可町加美区鳥羽（家族提供）

と体力の要る治療を望まず「ゆっくり過させてあげたい」と話した。「帰る、帰る」入院後しばらくすると、勇さんは身の回りの世話をする長男の妻、利津さん（61）にいきりに訴えるようになった。利津さんは、丹波市の生家のことを思い出しているのでは、と思っ

勇さんの家族は3世代8人。利津さんが相談すると、快く在宅療養に賛成してくれた。12年4月26日、勇さんが帰ってきた。眺めの良い夫婦の部屋ではほぼ一日を過ごす毎日。外出は難しかったが、窓の外に広がる山や田畑をベッドの上から飽きず眺めた。「勇行が田んぼほしまるな」。認知症を忘れていた長男の名前も、農作業の記憶とともに思い出した。勇さんの人生そのものが、鳥羽の風景に染み込んでいた。

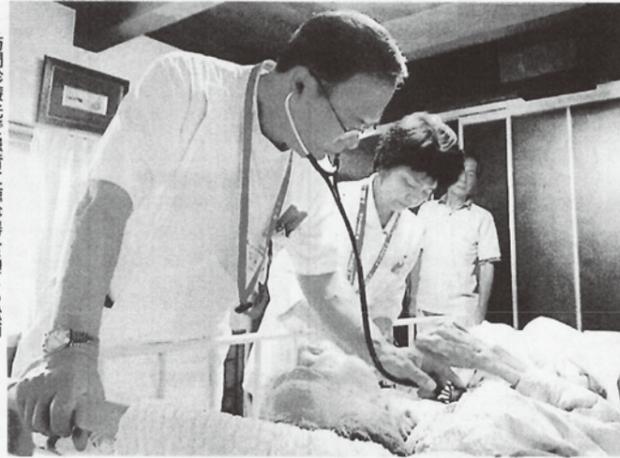
人のように柔和になった。病院ではあまり受け付けなかった食事も、当時4歳だったひ孫の渡邊皓清君がさじを運ぶと口を開いた。90歳の誕生日を家族と一緒に祝った。近所の人も顔を覚えてきた。無口で頑固だが裏表のなかった勇さん。「おいちゃん」と慕っていた女性はあるなええ人ないと言った。最期が近いことは、誰もが感じていた。松浦さんはあらかじめ、死の兆候などを説明したパンフレットを家族に渡していた。「もうあかんみたい」。久々さんは訪ねてきた松浦さんに言った。私の顔見て笑ったことない人が、にっこり笑ったんです。水も食べ物も取らなくなり、時々呼吸が止まるようになった。6月17日、勇さんは眠るように旅立った。帰宅後も一度吐血したが、痛みを訴えることはなかった。「認知症は、苦しみや和らげる。神様の贈り物だったのではないかと、思ったくらいです」と利津さんは振り返る。松浦さんは「最後まで自分が、大将でいられることが大切。勇さんには、田んぼ、親しい人たちに囲まれた自宅がその場所でした」と話し、こう付け加えた。「家族全員で支え合って介護したことも穏やかな最期を後押ししました」（田中伸明）

神戸新聞 平成 28 年 6 月 6 日 夕刊

## 終着点の 見つけ方

多可赤十字病院院長

松浦尊磨さん〈下〉



訪問診療先で患者に聴診器を当てる松浦尊磨さん。患者の生きがいや希望も意識する。2012年、兵庫県多可町中区

在宅での最期を数多くみてきた医師の松浦尊磨さん（69）。人生の終着点が迫っても、どう死ぬかより、どう生きるかが大切だと語る。他人が見れば不自由な晩年でも、自分らしさを貫ければ幸せかもしれない。そう教えてくれたのは、淡路島の五色診療所時代に関わった一人の女性だ。

小松しづえさん。仮名。出会いは強弱だった。約20年前、当時80歳だ

## 犬や猫の世話に生きがい 不自由な生活でも自分らしさ貫く

まつら たかまろ 1946年、広島県上蒲刈（かみかまがり）島生まれ。大阪医科大学。長野県の佐久総合病院、淡路島の五色診療所で地域医療に携わる。2012年多可赤十字病院院長。同病院ホームページで院長ブログを発信。

つたしづえさんは、道ばたで意識不明になって倒れていたところを、診療所に担ぎ込まれた。重症の糖尿病。血糖値は異常に高く、食事の管理ができていないのは明らかだった。心臓の持病もあった。インスリン注射で容体は安定したが、今後の生活をどう支えるかは難問だった。

山間部の小さな平屋での独り暮らし。近くに姉が住んでいたが、疎遠になっていた。食事は出来合いのものを食べたり食べなかったり。糖分の高い栄養ドリンクは欠かさず飲んだ。自分で薬を注射する必要があったが、糖尿病性網膜症のため説明書を読むのもままならなかった。希望のない生活に映るが、彼女には生きがいがあった。自宅で飼っていた10匹以上の犬や猫の世話。日に何度か彼らを引き連れて森の中を散歩した。しづえさんは自分の子のように話しかけたり、叱ったりしていた。

松浦さんや看護師による在宅ケアが始まると、訪問を楽しみにするようになった。松浦さんは、診療体験を基に執筆した小説「弥陀の舞う島」(日本文学館刊)の中で、しづえさんとのやりとりを再現している。「誰か、先生か？ まだ死ななくていいよ。もういいよ。うまいこと死ぬのもおもしろいよ」「ほん、ちゃんとのんではいけ」「のんじらん、めしの前にのめ言ったが、食ひやせんもん。のまりやせん」。挑発的なことを言っただけ、にこっと笑う。頑固で自分本位だが憎めない。町なかの眼科に通院する際はなせか、パーマをかけおめかしするおぢやめな一面もあった。次第に病状は悪化し、ほとんど布団の上で過ごすようになった。視力の低下で注射も自分で打てなくなった。家事もヘルパーに支えてもらう生活になったが、入院は頑として拒んだ。「犬や猫を誰か面倒みるんじや」



五色診療所時代の松浦さんらの巡回診療風景。のどかな田園地帯が広がる。1985年（左）、兵庫県五色町（現洲本市）

★★★2016年6月6日と7月4日付け神戸新聞夕刊に掲載された松浦尊磨先生（学21期）の記事を紹介します★★★

# 冊子紹介

★★★発売中の文春ムック「有力医師が推薦するがん手術の名医 107 人」(880 円+税)の中で  
 本学の奥田準二先生(学 33 期)が紹介されています ★★★

# 新聞切抜

★★★2016 年 7 月 6 日読売新聞夕刊に掲載された本学産婦人科教授 大道正英先生(学 33 期)の記事を紹介いたします ★★★

## 子宮がん

### 頸部・内膜とも発症増加

子宮がんは、主にウイルス感染が原因で発症する「子宮頸がん」と、一部の女性ホルモンが関係する「子宮体がん」の総称です。いずれも患者は増加傾向にあります。早い段階で治療すれば完治できる可能性は高く、妊娠できる可能性を残せるかどうかが選択肢になる場合があります。

#### なぜ起きるの?

子宮頸がんは、頸から子宮につながる子宮頸部にできます。性交渉で感染するヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が主原因と考えられています。感染してもウイルスは通常、自然に排除されますが、感染した人の1000人に1人、ウイルスがまれにがんを発生させます。20〜30歳の若い世代で発症率が急上昇するのが特徴です。子宮体がんは「子宮内膜がん」とも呼ばれ、子宮の内膜に発生します。女性ホルモンの一つであるエストロゲンの一つであるエストロゲンの増加が大きな原因とされ、肥満や糖尿病、出産をしていないことなどが発症リスクを上げます。閉経を迎える40歳代後半から増加し、50〜60歳代で発症のピークを迎えます。

#### 早期発見で妊娠の可能性も

子宮頸がんは初期症状がほとんどありません。また、子宮頸部に異常な形をした細胞が現れる「異形成」を経て、数年から十数年かけてがんになるので、検診で早期発見することができます。

子宮体がんは、閉経後の不正出血が特徴です。「子宮がん検診」は、子宮頸がんの検診を指すので、子宮体がんの検診では見逃される可能性があります。注意が必要です。

#### どんな症状?

子宮頸がんは、閉経後の不正出血が特徴です。「子宮がん検診」は、子宮頸がんの検診を指すので、子宮体がんの検診では見逃される可能性があります。注意が必要です。

#### どう治すの?

治療は手術が中心で、手術後に放射線治療や抗がん剤を組み合わせることもあります。

手術では、早期ならば子宮頸部の一部だけを切除し、妊娠する機能を残すことが可能です。腫の一部を含めて子宮を切除する場合もあります。

子宮の周りには尿管や卵管が通っており、手術後は尿管や卵管が通らなくなる場合があります。尿管や卵管の神経を死滅させる手術法もあります。

最近では、患者への負担が少なくなるよう、子宮体がんの手術が保険適用されました。大阪医科大学大産婦人科が所定の病院内では、子宮頸がんの腹腔鏡手術が可能です。

子宮頸がんは、ワクチンによる予防と定期的な検診による早期発見が可能です。

一方、子宮体がんは確実な予防の方法はありません。閉経後の不正出血があれば、速やかに診察を受けましょう。肥満気味の人は、糖尿病のある人、更年期障害の改善のためにエストロゲン製剤を長期使用している人などは特に注意が必要です。

大阪医科大学大産婦人科教室

大道正英 大阪医科大学教授

子宮頸がんは性体験の低年齢化、子宮体がんは食生活の欧米化や晩婚化などにより、いずれも増加傾向にあります。特に子宮頸がんは2年に1度は検診を受け、早期発見に努めてください。不正出血など異常があれば、ためらわずに病院に行ってください。

※「医なび」では、身近な病気の知識や治療の情報をお伝えします。  
 科学医療部 ファクス06-6361-0521  
 Eメールoykagaku@yomiuri.com

## 文藝春秋

有力医師が推薦する

# がん手術の名医107人

日本人に多いのがん

頭頸部 肺 食道 胃 肝臓 膵 大腸 乳 泌尿器 婦人科

本学に手術が巧い外科医インタビュー  
 奥田準二先生(学 33 期)が紹介されています

## 教えて!健康

テーマ 動脈硬化の怖さを知ろう 第2回 発見と治療のキモ

日本人に増えている「生活習慣病」の原因の一つに、「動脈硬化」があります。自覚症状がないまま進行すると、心臓や脳の病気を引き起こします。がんに次いで、日本人の死因の上位を占める心疾患や脳血管疾患を予防するためにも、動脈硬化対策の最前線を専門家が紹介します。第2回は「発見と治療のキモ」です。

企画・制作/静岡新聞社営業局

## 悪玉コレステロールの数値知る

特定健診や人間ドック活用

コレステロールの種類

「HDL(善玉)⇒数値が高いほど良い。  
 「LDL(悪玉)⇒数値が高いほど悪い。」

コレステロールの数値

基準値	60〜119mg/dl
警告値	120〜139mg/dl・・・気を付けよう!
異常値	140mg/dl以上～・・・治療が必要に!

●特定健診などで出たLDLコレステロール値を、改善していこう!

「自分のカルテ」を作って管理

「かかりつけ医」を持つ

聞き手

企画・協賛/SBS静岡健康増進センター 静岡市駿河区豊島3-1-1 電話 054(282)1109

★★★静岡新聞の「教えて健康」に  
 吹田浩之先生(学 36 期)が参加された座談会の記事が掲載されました ★★★

# 新聞切抜



学校法人 大阪医科薬科大学

## 大阪医科大学 Osaka Medical College

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集

来年創立90周年を迎える大阪医科大学。医学部ではこれまで約9,000人の医師が輩出した。看護学部とともに「医看融合教育」を推進するいま、教育・研究の大胆な改革に着手し、世界有数の医療系総合大学を目指す。

2016年春、日本最高水準の医療・教育・研究環境の実現のため、学校法人大阪医科大学と学校法人大阪薬科大学は法人合併しました。今後は、大学統合をめざします。  
<http://www.omp.ac.jp/>

**大**阪医科大学は1927(昭和2)年、5年制の高等医学専門学校として誕生しました。昭和の大恐慌で多くの国民が中国やブラジルへ移住した時代、国内外の医師不足解消を目的に民間の力で設立した学校です。建学の精神「至誠仁術」は医療による社会貢献であり、大阪医大病院が市民とともに歩んできた歴史として形となり、教職員や学生に受け継がれています。

昨年の学長就任時、五つの教学改革方針を打ち出しました。「Innovation: 今行うべき改革」では、来年度から医学部に臨床実習の増加や学生研究を組み込んだ新カリキュラムを導入。3~4年次生の一定期間、授業をほぼフリーにして研究に専念してもらい、学生全員に「リサーチマインド」を植え付けます。そのためにも初年次教育では、実験ノートをつける習慣や統計学の知識、英語プレゼン能力を養う総合教育を推進し、高校卒業から1年次生のスムーズで有機的な「高大接続」を実施します。また留学や共同研究を活性化する「Globalization: 教育研究のグローバル化」にも、中山国際医学医療交流センターを中心に注力します。

大槻 勝紀学長



## 最高の出会い

「Translational Research: 研究拠点の形成」では、各教室の垣根を越えた融合的な研究拠点の形成を行います。同時に、優れた医療人を絶えず社会に送り出し「Social Contribution: 社会貢献活動と社会責任」も果たします。そして「Open Mind: 情報の発信と共有化」で、教員、職員、学生すべてが情報を共有できる環境を構築します。

本学は、医学部と看護学部、大阪医大病院が同じキャンパス内に位置することを生かし、両学部合同の講義や実習を行う「医看融合教育」に取り組んできました。超高齢化社会では、医師と看護師の他、薬剤師、栄養士や臨床工学技士などの多職種連携がますます求められます。患者様中心のチーム医療の担い手を育成するうえで、今年4月の大阪薬科大学との法人合併は意義あることです。この「最高の出会い」を、目標とする「世界有数の医療系総合大学」への追い風とし、社会に貢献できる医療人をこれからも育成します。

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集

学校法人 大阪医科薬科大学

## 大阪薬科大学 Osaka University of Pharmaceutical Sciences

幅広い分野で活躍する薬剤師、薬と生命を探究する研究者が輩出している大阪薬科大学は、110有余年の歴史と伝統を誇る。医師と対等に議論でき、高い生命倫理観を持つ「薬学人」の育成に力を注ぎ、薬学教育をリードする。

**大阪医科大学** 医学部/看護学部  
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7  
<http://www.osaka-med.ac.jp/>

オープンキャンパス | 7月17日(日) 8月6日(土)  
8月7日(日) ※看護学部のみ

**大阪薬科大学** 薬学部  
〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1  
<http://www.oups.ac.jp/>

オープンキャンパス | 7月30日(土) 7月31日(日)  
8月21日(日) 10月1日(土)

**高槻中学校・高等学校**  
〒569-8505 大阪府高槻市沢良木町2-5  
<http://www.takatsuki.ed.jp/>

入試説明会 | 10月15日(土)  
11月12日(土)

★★★6月16日付朝日新聞に  
本学及び大阪薬科大学の広告が掲載されました★★★



学校法人 大阪医科薬科大学

## 最強のチーム

**大**阪薬科大学の発祥の地は、薬の町として知られる大阪の道修町です。1904(明治37)年に設立した大阪道修薬学校を前身とし、卒業生は2万人を超えました。病院・薬局薬剤師をはじめ、企業における医薬食品研究・開発・情報提供、医薬行政、医薬関連教育など幅広い分野で活躍しています。長い歴史の中で、卒業生が多方面で実績を残しているのは本学の強みです。

これからの薬学教育で重要なのが、イギリスで始まった専門職連携教育(IPE: Inter-Professional Education)です。医学部、薬学部、看護学部の学生が、早い段階から共通のカリキュラムで一緒に勉強する教育方法のことを指します。チーム医療がますます普及していくなかで、医療系の学生どうして連携することには大きな意味があります。



本学は今年4月、大阪医科大学と法人合併しました。合併により、専門職連携教育はこれまで以上にスムーズに実施できるでしょう。そして、大阪医大病院を臨床現場として、より充実した実習教育が可能となります。薬学生に求められる、高い生命倫理観を養うためにも非常に良い環境が、今まさに整ったのです。臨床現場の豊かな実習経験から培った高い生命倫理観は、薬剤師だけでなく、薬学研究者、製薬会社のMR(医療情報担当者)、薬務行政の担当者など、薬学に携わるすべての人の礎になるはず。また、本学と大阪医科大学の教員による共同研究の話し合いも、着々と進んでいます。

私立大学医学部として、全国でも指折りの実力を持つ大阪医科大学と、優秀な薬剤師が数多く輩出している本学との法人合併は、「最強のチーム」と呼ぶにふさわしい組み合わせだと自負しています。専門職連携教育、共同研究をこれまで以上に推進し、人の命を救う「薬学人」を育てていきます。

政田 幹夫学長

## エッセイ

## 歴史を彩った女性達 (1)

西村 保 (学 4 期)

小野小町はエジプトのクレオパトラ、中国の楊貴妃と並んで世界の三大美女の一人と云われている。現在はあまり云われなくなったが、その土地の美人を小町娘、〇〇小町とか称していたものである。

小野小町は出羽の国の郡司、小野良真の娘として生まれたと云われているが確たる証拠はなく出自は謎に包まれている。それでも「古今和歌集」や「百人一首」に収録されている和歌は深い教養がなくては成立し得ないことから、貴族の娘であったことは間違いないものと思われる。

これ程才色兼備の女性なら、さぞかし幸多き一生を送れたと思われる。実際、小町は、時の天皇の寵愛を受けたとも、多くの男性と浮名を流したとも伝えられているが、はっきりとした史実は伝わっていない。実のところ、当時の女性は、どんなに身分が高くとも、出自や生没年も明らかでないのが普通である。しかし小町の晩年は悲惨な境涯に落ちていたという逸話が伝わっている。

年老いて全く美貌の衰えた小町は、都を離れて、みすばらしい格好で諸国を彷徨い、その果てに行き倒れとなって命を落とすが、誰も葬る人がなく、遂には白骨となり、その髑髏の眼窩からススキが生えていたという伝説が残っている。

誠にオドロオドロしい伝説であるが、多くの男性を袖にするような驕慢な美女は、人のやっかみを浴びやすく、そんな女は落ちぶれて当たり前だというのであろうか？

クレオパトラは古代エジプト、アトレマイオ



ス朝の女王の名であるが、後年、フランスの哲学者パスカルが「もしクレオパトラの鼻がもう少し低かったら世界の歴史は変わっていたであろう」と感嘆したほどの美貌であった。彼女は其の美貌で、後に古代ローマの皇帝となったカエサルを魅惑し、ローマに移住。そしてカエサルの死後は、後継者のアントニウスと結婚し、古代ローマの女王として君臨したが、その後、反乱軍に敗れたアントニウスは自殺した。間もなくクレオパトラも自殺した。それも非常にドラマチックで、毒蛇に自分の豊満な乳房を咬ませて死んだとの伝説が残っている。

楊貴妃は唐の玄宗の妃である。才色兼備で傾城（一顧すれば城を傾け、再顧すれば国傾く）の美と称された。玄宗の寵を専らにし、一門、一族は全て栄達したが、それに反発した反乱軍に殺された。

こうしてみると世界の三大美女は三人共、悲惨な末路を辿ったと云える。正に「美人薄命」である。

つまり「美人は美人たるが故に男たちや女たちの愛憎や嫉妬の渦に巻き込まれて複雑な運命を辿り、結果的には不幸せになる場合が多い。（ことわざ辞典）」のであろう。

## リレーエッセイ

## 大阪医科体育大学？

丸山 栄 勲 (学 45 期)

前号掲載の月山先生 (学 49 期) よりご指名を受けました平成 8 年卒、学 45 期の丸山と申します。現在、茨木市で泌尿器科・血液透析の北川クリニックの院長を拝命しております。

私は平成 2 年入学ですが、兄が関西医大に進学した以外、親戚、知人には全く医学部に関連した人はいませんでした。大阪医大に入学が決まったとき、医学部生活に関して兄に尋ねてみましたが「ん？ まあ、入学したらわかる」とあまり教えてもらえませんでした。

入学式当日、阪急高槻市駅に待ち構えていたラグビー部の巨大な先輩方に周囲を取り囲まれ、まさに「あれよあれよ」という間にラグビー部に入部、汗と泥にまみれた 6 年間を過ごすことになりました。

別名「大阪医科体育大学」と呼ばれていたあの頃、どの体育会クラブも練習熱心でした。学内で友人に会っても「今日、クラブ (の練習) あるの？ しんどいなあ」と挨拶代わりに慰め合い、授業はさぼっても練習だけはして帰る、といった日もめずらしくありませんでした。椎間板ヘルニアや骨折などシビアな怪我もつきもので「なんで医科大でこんなしんどいスポーツしてるんやろ？」と自問自答しつつも、レギュラーになった 3 回生頃からはラグビーのおもしろさに目覚め (大学入学までラグビー経験なし) ますます体育大学生として成長していきました。

幸いにして学業成績は中くらい？ で、卒業試験、国家試験も無難に通過し医師となることができましたが、泌尿器科学教室 (当時勝岡洋治教授) 入局以降は忙しさもあり徐々にラグ

ビー部からは縁遠くなる日々となっていました。

今春、現役チームが春の医歯薬大会の準決勝まで勝ち残っていることを耳にし、この数年来ご無沙汰していた公式戦観戦に出かけました。残念ながら観戦した試合は 3 位決定戦でしたが、試合直前の円陣で部歌を合唱する姿をみて「自分たちも暗唱した部歌が 20 年以上歌い継がれている」と思うと何か熱いモノがこみ上げてきました。

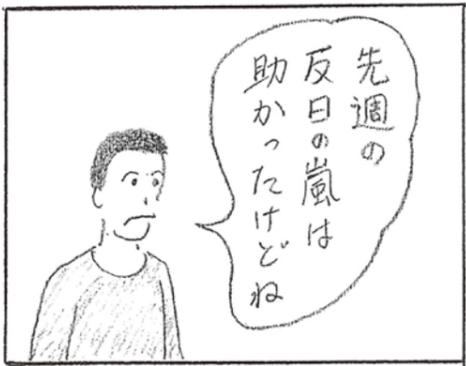
また先日、京都市内で妻と友人夫妻の 4 人で食事していたところ、となりのテーブルのご夫婦が突然立ち上がって「丸山先生ですよ」と話しかけてこられました。以前担当した患者さんのご家族かな、と思っていると「ボク、京大のラグビー部で先生の 2 年下でした」とのこと。「なんで (丸山と) わかったの？」と聞くと、我々の談笑を聞いて「この声は大医大の丸山先生に違いない！ 挨拶しないと」と思われたそうです。私の声の特異性はともかく、これをきっかけにこの先生とはそれから定期的に食事やゴルフ、また症例の相談など交流を続けています。医学部のクラブ活動は学業優先が原則のため時間的、人力的、経済的制約がつきまといますが、その真の価値は競技していた学生時代ではなく、大学卒業後にこそあるのかもしれない。初対面の先生とも「なんや、キミ大医大のラグビー部かいな。何年卒？」と話に花が咲くこともよくあり、何より「卒後 20 年の今でもラグビー部話で酒が呑める」というのは本当に有り難く、「幸せな学生生活だったんだな」と実感している今日この頃です。

最後に次号のリレーエッセイですが、大阪市梅田で「梅田血管外科クリニック」をご開業されている古林圭一先生 (学 49 期) にお願

# まんが

## 七〇年談話

アサヒボンタックス (学 31 期)



# 編集部より

## 会費納入のお願い

年会費

平成 28 年度 10,000 円

平成 27 年度 10,000 円

平成 26 年度 10,000 円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

## 原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。

日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●47 巻 6 号 (平成 28 年 11 月 1 日発行)

締切 平成 28 年 9 月末日

●48 巻 1 号 (平成 29 年 1 月 1 日発行)

締切 平成 28 年 11 月末日

●送付先: 仁泉会事務局

〒569-8686 高槻市大学町 2-7

E-mail: jim@jinsenkai.net

FAX: 072-682-6636

## 写真募集のお知らせ

誌面を彩るお写真も新たに募集します。季節の風景、お住まいの地域の情緒ある街並みなどをお送りください。なお、掲載時期及び掲載の有無に関してはご一任くださいますようお願い致します。



写真ご投稿「高槻市民憲章」西村 保先生 (学 4 期)

# 本部だより

## 会員訃報

次の会員が亡くなりました。慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

### 高医 15 期 河野 勲先生

平成 28 年 5 月 23 日汎発性腹膜炎の為に逝去 (92 歳)。昭和 20 年卒。

大阪市にて産婦人科をご開業になりました。その後、船医としてお勤めになり、島根県の川本保健所にも勤務されるなど地域医療に貢献されました。

ご遺族 長女 田部慈子様

### 高医 16 期 寺田泰治先生

平成 28 年 6 月 11 日肺炎の為に逝去 (92 歳)。昭和 22 年卒。

卒業後、京都大学解剖学教室・外科学教室に入局されました。昭和 29 年に和歌山県の医院を継承され、90 歳まで開業医として地域医療に尽力されました。また長期にわたり学校医をお務めになり、平成 23 年に瑞宝双光章を授章されました。

ご遺族 長女 田村高子様

### 高医 17 期 月藤春雄先生

平成 26 年ご逝去。昭和 23 年卒。

### 高医 17 期 劉 善夫先生

平成 28 年 6 月 19 日心臓疾患の為に逝去 (92 歳)。昭和 23 年卒。

神戸市中央区にて劉外科医院を開設なさり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 雅子様

### 高医 18 期 大西光昭先生

平成 28 年 6 月 3 日誤嚥性肺炎の為に逝去 (89 歳)。昭和 24 年卒。

卒業後、大阪市西区の日生病院に勤務されました。昭和 31 年に門真市にて大西医院 (内科・小児科) をご開業になり、平成 23 年に閉院さ

れるまでの 55 年間、地域医療を支えてくださいました。

ご遺族 長男 光英様

### 高医 18 期 高田 満先生

平成 25 年ご逝去。昭和 24 年卒。

### 高医 19 期 金内 修先生

平成 28 年 3 月 30 日肺炎の為に逝去 (90 歳)。昭和 25 年卒。

卒業後、京都大学薬理学教室に入局され、昭和 32 年 12 月に医学博士の学位を授与されました。大阪市南区にて金内医院 (皮膚科・泌尿器科) を開設され、地域医療に尽力されました。

ご遺族 妻 悦子様

### 高医 21 期 田井 純先生

平成 28 年 1 月 25 日肺炎の為に逝去 (89 歳)。昭和 27 年卒。

卒業後、母校内科に入局され、昭和 28 年より兵庫県晴風園今井病院にて、また昭和 30 年より京都市愛生診療所にて勤務されました。昭和 31 年に京都市にて内科・小児科をご開業になり、平成 15 年までの 47 年間、地域医療に携わってこられました。

ご遺族 長女 千津子様

### 学部 1 期 池田多加志先生

平成 28 年 5 月 5 日老衰の為に逝去 (88 歳)。昭和 27 年卒。

広島県三原市にて整形外科をご開業になり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 娘 智子様

### 学部 2 期 藤本茂實先生

平成 28 年 6 月 18 日心不全の為に逝去 (90 歳)。昭和 28 年卒。

東大阪市・医療法人 大阪恵星会 鴻池クリニック理事長として地域医療に尽力されました。

ご遺族 妻 裕子様

### 学部 3 期 末澤 登先生

平成 28 年 5 月 19 日進行性胃癌の為に逝去 (89 歳)。昭和 29 年卒。

昭和 29 年から昭和 30 年 3 月まで高松赤十字病

院に勤務されました。同年 4 月から昭和 34 年 6 月まで京都大学医学部附属病院整形外科にご勤務になり、昭和 33 年に学位を取得されました。昭和 34 年 7 月から昭和 36 年 12 月まで石川県国立山中病院にて、また昭和 37 年 1 月から昭和 43 年 9 月まで福井県武生市医療法人林病院にて整形外科医としてお勤めになりました。昭和 43 年 10 月に福井県越前市に末澤整形外科医院を開設され、平成 24 年 3 月 84 歳になられるまでの約 43 年間、開業医として地域医療に尽くされました。

ご遺族 妻 照子様

#### 学部 5 期 村上昭三先生

平成 28 年 5 月 27 日脳梗塞の為に逝去(87 歳)。昭和 31 年卒。

昭和 32 年頃より村上医院(内科・小児科・レントゲン科)を継承され、平成 26 年 10 月に閉院されるまで約 57 年間のながきにわたり地域医療に貢献されました。

ご遺族 長男 昭彦様

#### 学部 6 期 加藤 稔先生

平成 27 年 3 月 26 日上部消化器管出血の為に逝去(84 歳)。昭和 32 年卒。

卒業後、大手前病院皮膚科・泌尿器科・小児科・心臓外科にて 10 年余り勤務されました。その後大阪市にて加藤診療所をご開設になり、地域医療に貢献されました。卒業後も地域の医大グループの勉強会に参加される等医療活動に励まれ、84 歳まで生涯現役を貫かれました。

ご遺族 妻 かず様



#### 編集後記

女医会の記事を掲載いたしました。仁泉会会員の 4 分の 1 が女性です。全国で見ると、平成 26 年の医師国家試験合格者の 32% が女性。全年齢層医師に占める割合は 20% です。実際医師としての活動率は 25 歳で男女とも 93% ほどですが、35 歳では男性 90% に対し、女性 75% と差が出てしまいます。自身の出産、子育てのため現場から遠ざかっていることが如実に表れている数字です。休職あるいは退職後 1 年未満で復帰するのは 65% ほどで、一旦離職した後の身分保障や保育環境整備もまだまだ十分とは言えない状況です。

35 歳前後は医師としての修練も積み、いわゆる一人前になるころで、また専門医を目指す時期とも重なります。女性の場合、生殖年齢に限られますのでやむを得ないとは思いますが、何とももったいないことです。産まなければならない、医師としてのキャリアも積みたい、夫、親の世話も大変とまさに八面六臂の活躍が求められています。女性が医師を続けるためには、仕事を楽しみからというモチベーションが必要だそうです。“女はつらいよ by 寅”

(治)

#### 仁泉会事務局メールアドレスについて

この度、事務局のネットワーク整備に伴い、2 つあったメールアドレスの内、jinsenkai@etude.ocn.ne.jp は平成 27 年 11 月末日をもって廃止となりました。今後は jim@jinsenkai.net のみとなりますのでよろしくご留意致します。

**廃止：jinsenkai@etude.ocn.ne.jp**

**現行：jim@jinsenkai.net**



ハードルをジャンプ!!

地元で 50 年

薬袋・診察券・カルテなどの

**医療印刷**

**タツミ印刷株式会社**

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻

tel: **072-761-8434**